

学校環境緑化 モデル事業



緑の募金では、「ローソン緑の募金」並びに㈱ローソンの募金寄付により都道府県緑化推進委員会推薦事業として「学校環境緑化モデル事業」を実施しています。

学校環境緑化モデル事業

学校法人 フレンド恵学園 浦河フレンド森のようちえん



事業概要

本事業では、自然環境保全の意識を高めること、子どもたちが夏の暑さから自然に身を守れるように園舎環境を整備すること、地域の方も自由に利用できる園舎のため、景観の向上等を目的に、以下活動を行う。①職員、園児、保護者、地域の方で、園舎裏山より、若木を掘り起こし園舎まで運ぶ。②園庭や園舎の周りに穴を掘り若木を移植し、支柱で固定する。必要な場所にはネットや鹿よけの柵を設置する。

事業成果

園の子どもたちや保護者のみではなく、他園に通う子どもたちや地域の方々が大勢参加し、自然環境に興味を持てただけだ。また、子どもたちは、自らが植えた木々の成長を楽しみに過ごすことができている。

事業をよく知る関係者の声

- ・地域の方々と伐根、植樹をすることにより森林保全活動への意識の向上に繋がると感じた。植樹した木の成長を確認することで、参加者の意識の向上に繋がる意義のある活動であると感じた。(50代林業関係者)

参加者の声

- ・家族で参加。小1の息子にとって、スコップで土を掘るという体験は初めてのことで、周りを見ながら自分の胸の高さまであるスコップを工夫し、作業をしている姿が印象的だった。(30代女性)
- ・木の根を切り、森から木を運び、植え替え、水をあげる、この大変な作業をした分、子どもたちは作業後、充実した表情だった。(40代保育士)
- ・皆で協力して木を探し、掘って植え替えて、良い機会だった。自分で植えた木の成長が楽しみ。(40代女性)



造園業者から伐根作業の説明を受ける



「かしわの森」で若木の伐根作業



園舎周辺に若木を移植



子どもたちも一緒に作業

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：31本
(移植木含む)

参加者数

道内：約45人
計：約45人

緑化植物

ミズナラ、ヤマモミジ、クリ、サクランボほか

五感を通して自然体験できるグラウンド散策道の環境整備

青森県立七戸養護学校



事業概要

児童生徒が、五感を使って身近な自然を感じ、観察できるように自然環境を整備する。主な活動は以下のとおり。①色鮮やかな花を咲かせる木や香りがする木、実のなる木などを植樹。②教室内の採光や窓から見える景観を良くするために、中庭の大きくなった木を伐採。

事業成果

季節によって色鮮やかな花を咲かせる木や香りがする木、実がなる木があることを知らない児童生徒が多かったが、朝のマラソンや散歩時に植樹の看板や木を見て、興味を示していた。また、校内2カ所の中庭の木を伐採することで、中庭の景観が良くなり、明るくなった。教室にも外からの光が差し込むようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹した木が数年後に大きくなり、自然観察の実施効果



代表児童・教職員など18人が参加



看板を設置



記念植樹



中庭の大木を伐採

が期待される。しかし、植樹を行ったグラウンドは数年後に校舎増築で整備されるため、今後、植樹した木の数本を別の場所に移植しなければならない。そのほか、中庭の大木を伐採したことで、校舎外の景色が見えるようになり、明るくなった。

参加者の声

- ・完成式典に参加されたローソン関係者や青森県緑化推進委員会の方々に、中庭の木を伐採したことで、景観が良くなっただけでなく、教室に外からの光が入りやすくなったことを伝えると、伐採の効果に驚いていた。完成式典では、七戸養護学校の児童代表が、「季節ごとに花や実がなる様子を観察して、大切に育てていきます」とお礼の言葉を述べていた。また、植えられた木をじっくり観察していた。

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.003ha
 植付本数：21本
 除伐面積：0.2ha
 イベント：1回

参加者数

学内：12人
 学外：6人
 計：18人

緑化植物

ジンチョウゲ、クチナシ、ロウバイ、ヤマブキ、ドウダンツツジ、ヤマボウシ、ヒメリンゴ

滝沢中央小 環境緑化モデル事業

岩手県滝沢市立滝沢中央小学校



事業概要

目的は、令和元年度に開校したばかりの新設校の敷地内に、児童が集い、心安らぐような美しい木々を植えることで、学校緑化の推進を図ること。そして、児童が自然に親しみ、ともに成長しようとする気持ちを育てることである。主な活動は、植樹活動。

事業成果

児童が自分たちで学校の敷地内に植樹をしたことにより、その活動が思い出として残ることや愛校心を育むことができた。

事業をよく知る関係者の声

・式典、植樹ともに6年児童を対象にしたため、全校児童

に植樹を行ったことを知らせる活動を計画すれば良かった。

・植樹した木々に名称を書いた名札を付け、児童が木の名前を分かるようにしたい。

参加者の声

- ・大きく成長してほしい。(小学生男子)
- ・何年か後に、見に来たい。(小学生女子)
- ・植樹のために穴を掘った際、大きな石だらけで苦勞した。(40代用務員)
- ・今回の事業が行われることになった経緯について、児童に早い段階で説明をし、理解や興味をもっと持たせられたら良いと思った。(40代教諭)



シダレザクラを植樹



完成式典の様子



代表児童・教職員など116人が参加



児童らの手で植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.06ha
植付本数：28本
イベント：1回

参加者数

学内：114人
学外：2人
計：116人

緑化植物

ソメイヨシノ、シダレザクラ、スグリ、レッドロビン

学校環境緑化モデル事業

岩手県宮古市立千徳小学校



事業概要

学校のプール北側に植えてある成長したトウヒ・ヒバの枝の位置が高く、目隠しの役割を果たしていない。また、枝葉等がプールに入り水質環境の問題になっている。プールおよびその周辺環境を改善するために、トウヒ・ヒバの伐採、枝払い、シラカシを植樹した。

事業成果

トウヒ・ヒバの伐採によって、落葉・鳥の巣・虫等の落下物が減少し、プールの水質環境の改善が図られ、児童の精神面も含めた安心感に繋がった。校舎北側は団地のため住宅が多く、水泳授業へ抵抗感を感じていた児童もいたが、新たな植樹と今後設置するシートの活用により、改善が図られた。

事業をよく知る関係者の声

・プール北側西半分のトウヒ・ヒバを伐倒したが、東半分

も今後複数年にわたって整備が必要である。教育委員会と連携して計画的に整備を進めたい。

・数十年後にどのような作業や手入れが必要になるのか、伐採後に残っている地中の根を除去するまでの期間など、業者や専門家からの助言を受けながらできる範囲で対応していきたい。

参加者の声

- ・木が大きくて、上から落ち葉などいろいろ落ちていたけど、無くなったので少し安心する。(小学生)
- ・ノートもらった。木や環境のことが書かれていて勉強になった。(小学生)
- ・木の枝の位置が高く、住宅地から授業の様子が見えていたため、整備されて良かった。安心して学習できる。(20代小学校教諭、40代保護者)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた対外行事であったが、式典で児童が合唱発表でき、練習の励みになり良かった。(40代学校関係者)



代表児童・教職員など約20人が参加



枝払い・伐採対象のトウヒ・ヒバ



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：7本
伐採本数：3本
枝払い本数：10本
完成式典：1回
表示板設置：1基

参加者数

学内・学外：約20人
計：約20人

緑化植物

植付：シラカシ
伐採・枝払い：トウヒ、ヒバ

創立150周年記念 佐倉河小学校 緑の森事業

岩手県奥州市立佐倉河小学校



事業概要

学校敷地内の緑化や、校庭の樹木の整備をととして、学校環境緑化に努め、児童に潤いのある学びの環境を提供できるようにする。また、本校創立150周年記念事業の一環として記念植樹を行うことで、植樹した樹木、そして母校に対する愛着心を深めるようにする。主な活動は以下のとおり。①老木の伐採、②枝の剪定、③創立150周年記念植樹。

事業成果

老木を伐採したことで、児童の安全が確保され、さらに日当たりが良くなり、学校環境の改善につながることができた。また、剪定を行ったことで近隣民家への落葉を減らすことができた。本校創立150周年記念事業の一環として2本のアメリカハナミズキを植樹したことで、校庭の景観が良くなり、また植樹した樹木への愛着心を醸成することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹したアメリカハナミズキが元気よく生長できるよう、今後の剪定作業等について計画的に対応していきたい。今回の事業で伐採・剪定した樹木のほかに、生育が十分でないものがあることから、これらの対応については、外部と連携しながら整備を進めていきたい。

参加者の声

- ・木に土をかぶせる時は、木を傷つけないようにと少し緊張した。これからも、私たちが植えた木を大事にしたい。(6年女子)
- ・10年後創立160周年を迎えたとき、この木がどれくらい大きくなっているのか見てみたい。これからは楽しみだ。(6年男子)
- ・これまで課題となっていた老木の伐採や、枝の剪定を行ったことで学校内の敷地がすっきりしたように見える。(50代用務員)



看板を設置



代表児童・教職員など66人が参加



アメリカハナミズキの記念植樹



児童も交代しながら植樹作業

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.005ha
植付本数：2本
伐採本数：6本
看板設置：1基

参加者数

学内：64人
学外：2人
計：66人

緑化植物

植付：アメリカハナミズキ
伐採：サクラ、クロマツ、スギ

「くろしお学習園」緑化事業

宮城県南三陸町立志津川小学校



事業概要

校地内にある老朽化が進んでいる学年園(畑)を生活科や理解等の学習で効果的に活用するために整備を行う。また、樹木の様子の変化から成長や四季の移り変わりを実感できるような樹木の植栽を行う。

事業成果

理科、生活科、総合等で活用していた学年園(「くろしお学習園」と改名)が整備、改修されたことで、栽培活動や自然観察への活用幅が飛躍的に上がる。さらに、植樹した木も含めた木々や自然の移り変わりの観察をとおして豊かな心が育つ。

事業をよく知る関係者の声

- ・自然に囲まれた学校であったが、維持・管理がとても厳しい状況であった。このような機会をいただき、とてもありがたいと思う。(渉外担当、事業推進学校担当)
- ・完成が11月末だったことで、今年度の学習に生かせなかったが、次年度の学習園の割り振りや計画が今年度中に立てられることは何よりである。(学校緑化担当職員)

参加者の声

- ・事業に携わっていただいた多くの関係者の皆さんに感謝。使いやすい学習園になったと思う。(PTA関係者)
- ・「くろしお学習園」をこれからも大切にしていきたい。(児童代表)



記念植樹



完成式典の様子



代表児童・教職員など67人が参加



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：28㎡
植付本数：3本
改修面積：176㎡
イベント：1回

参加者数

学内：60人
学外：7人
計：67人

緑化植物

ハナミズキ、ヤマボウシ

桜華の宝石箱ゆめファーム

宮城県東松島市立鳴瀬桜華小学校



事業概要

目的は、新校舎移転に伴い、校地内及び周辺の緑化環境整備を行うことである。主な活動は以下のとおり。①学校北側の空地に畑と果樹園を整備し、実のなる木を植える。②校地に隣接する三角山から滝山公園に至るまでの山地に遊歩道を整備して児童が安全に散策できるようにする。③校地周辺に桜等を植樹する。

事業成果

農園は児童により「桜華の宝石箱ゆめファーム」と命名。今後、生活科総合的な学習における季節の野菜の栽培と果樹の収穫に活用し、児童の豊かな心情を養うことができる。遊歩道は学校から滝山公園まで自然の中だけを通して安全に行くことができ、自然に親しみ、郷土を愛する気持ちを伸ばすことができる。桜は本校校名にちなんだ校木で多種類の桜があることは児童の誇りとなっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・野菜や果樹の栽培・収穫などの農業体験活動を通して自分たちの食べ物について考えるきっかけになる重要な教育活動だ。(学校運営協議会委員)
- ・果樹の収穫は将来に繋がる活動でまだ成果は見えないが、子どもたちの伝統として引き継ぎながら活動を継続してほしい。(学校運営協議会委員)

参加者の声

- ・新校舎に、前の校舎にあった畑や梅の木があったら良いと思っていたので実現してうれしい。(6年児童)
- ・早く実がなってほしい。(6年児童)
- ・果樹が収穫できるようになるにはまだ時間がかかるので伝統として引き継いでいきたい。実がなるようになったら、ぜひ遊びに来たい。(6年児童)



完成式典では約50人が参加



実のなる木を植栽



校地周辺には桜等を植栽



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.06ha
植付本数：62本
下刈面積：0.15ha
除伐面積：0.1ha
イベント：3回

参加者数

学内：24人
学外：192人
計：216人

緑化植物

イチジク、ブルーベリー、ユズ、スダチ、カキ、リンゴ、サクランボ、ブルーベリー、ピワ、クリ、クルミ、ウメ、アーモンド、ピカンナッツ、サクラ、クヌギ、アケビ、ラベンダー

「南の園」緑化整備事業

秋田県立大曲支援学校



事業概要

校地南側の校庭（通称「南の園」）の緑化整備を行うことで、児童生徒が自然に親しむ機会を増やし、果樹の植樹や育成管理、収穫等の体験とおした木育及び食育の促進を図ることを目的としている。主な活動は以下のとおり。①児童生徒の手による、実がなる木の植樹、②地域の方との植樹を通じた交流、③植樹完成式典での記念植樹、④授業での果樹の成長観察。

事業成果

中学部生から、果樹園の散策をとおして「果樹名の看板を作成したい」との提案があった。植樹の活動により、これまで感じる事のなかった植物への興味・関心が高まってきている。小学部生はなかなか足が向かなかった校庭への散策機会も増えている。高等部農園芸班では、維持管理への関わり方を模索している。

事業をよく知る関係者の声

- 小学部から高等部生まで、全員が植樹に関わったことで、果樹への愛着が湧くだろう。実のなる頃には卒業している生徒が、「後輩のみなさんに大切に育ててほしい」と言った言葉が印象的であった。果樹園管理の維持を徹底し、子どもたちが本物の体験できる学習教材の場にしてほしい。

参加者の声

- いちじくを植えた。葉っぱが増えてきてうれしい。(小学部児童)
- 植えたレッドカーラントが少し元気がなくなってきたので、がんばって世話をする。(中学部生徒)
- 僕たちが卒業してから実がなると思うので、後輩のみんなには、大切にして、調理実習などの授業でたくさん使ってほしい。(高等部生徒)
- 自分も時々木の成長を見に来て、一緒に大切にしていきたい。(地域の方)



代表児童生徒が完成式典にて植樹



完成式典の様子



植樹の様子



小学部高学年がいちじくを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.0675ha
植付本数：37本
イベント：2回

参加者数

学内：177人
学外：5人
計：182人

緑化植物

イチヂク、レッドカーラント、カシス、キウイ、アンズ、ウメ、クリ、カキ、ブルーベリー、ジュンベリー

学校環境緑化モデル事業

山形県西川町立西川小学校



事業概要

町の豊かな自然を生かした環境教育や自然体験学習を、地域と連携しながら積極的に教育活動へ取り入れられるように、そして、生き物が生息しやすい環境にするため、ビオトープを整備した。活動は以下のとおり。①池の除草作業と植物の整理、②水辺の植物の植栽、③植樹。

事業成果

ビオトープを整備したことで、生き物が生息しやすい環境になり、体験的学習の場として活用が広がった。また、地域住民へのPRとなった。完成式典では、水を管理している区の関係者、学校運営協議会委員の方々に参列していただき、ビオトープの良さを見ていただいた。

事業をよく知る関係者の声

- ・水の抜け方で防水シートの点検も行いたかったが、これまでできてきた環境を壊さないように最低限の作業に留めた。学びの意欲向上に繋がる景観の良い場所となった。今後、水の管理をしっかり行い、常に適切な水の量を確保していく。また、整理した水辺の植物も増えすぎないようにして、生き物が住みやすい環境を維持していく。

参加者の声

- ・学習がしやすくなって良かった。(小学生)
- ・生き物も植物も大事にしていきたい。(小学生)



代表児童・教職員など77人が参加



記念植樹



整備されたビオトープ



ビオトープへ流れる水環境の整備

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：3本
植付株数：220株
ビオトープ整備面積：0.02ha

イベント：1回

参加者数

学内：65人
学外：12人
計：77人

緑化植物

コナラ、ミズナラ、ナナカマド、水生植物（アヤメ、カキツバタ、ハナショウブ、クサソテツ、ハス）

シンボルツリーけやき元気緑化事業

福島県喜多方市立松山小学校



事業概要

本校が設置されてから生き続けている「けやきの木」が、年数とともに弱り始めている。この木は、本校のシンボルツリーであり、これからもずっと学校を見守り続けてほしいという願いを受け、けやきの木の樹勢回復を目的に、表土置き換えや土壌改良などの工事と児童による施肥を実施した。

事業成果

けやきの木が元気に育っていくための工事をしていただいたことを、子どもや保護者、地域の方へ報告することができた。子どもたちからは、これからも一緒に大切にしていきたいという声を聞くことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・本事業を実施するにあたり、樹木医の鈴木俊行氏（福島空港公園事務所勤務）に工事の計画のため、けやきの木を見ていただいた。鈴木氏によると、立派な樹木であり、手入れさえしっかり行えばいつまでも元気に生きられるとのことであった。

参加者の声

- ・けやきの木が元気に育っていくための工事をしていただき、たいへんありがたかった。これからも、子どもたちと一緒に大切にしていきたい。
- ・ずっと私たちを見守ってくれているけやきの木がこれからも元気でいられるようにしていただき感謝している。（児童）



6年生による施肥



樹勢回復のため酸素管設置



看板を設置



代表児童・教職員など43人が参加

実績とりまとめ

作業内容

土置き換え面積：10m²

酸素管設置：

4本（15cm、1m）

看板設置：1基

完成式典：1回

参加者数

学内：37人

学外：6人

計：43人

緑化植物

ケヤキ

七郷グリーン大作戦

茨城県坂東市立七郷小学校



事業概要

児童の花や樹木を愛する心を育めるように、そして、自然や四季を五感で感じられる緑環境の下で集い、交流し、校内や地域の緑化への関心を高められるように、憩いの場・学習の場として整備する。活動は以下のとおり。①校庭に桜の木を植樹、コウライシバやクローバー等を植え付け。②樹木の枝払い、剪定、自生植物撤去。③外構工事等。

事業成果

整備された場所は児童の応募で決定した「七郷小にこにこスポット」と名付けられた。子どもたちは集う場所が増えたので喜んでおり、休み時間には交流の場として親しまれ、憩いの場となっている。また、緑豊かになった場所で過ごすことで、子どもたちが季節を五感で味わい、自然に親しむことで、緑化への関心が高まり、野外での学習の場として活用することにも繋がっている。

事業をよく知る関係者の声

- ・桜を育てることにより、花を愛で、芝生の上を裸足で歩くなど、自然を五感で感じられる環境が整い、ますます、校内や地域の緑化への関心が高まることを期待している。(緑化推進委員会)
- ・子どもたちが自然とふれあう機会が増えて、喜ばしいことである。これからも子どもたちのために自然豊かな学校を目指してほしい。(学校評議員)

参加者の声

- ・「七郷小にこにこスポット」として、休み時間には必ず芝生のベンチに座ってお手紙を書いたり、さくらの木の周りで鬼ごっこをしたりして楽しんでいる。(児童の声)
- ・卒業式には桜の花が咲き、とてもきれいで卒業生が集まり写真を撮った。うれしかった。芝生も青くなり、季節を感じる場所が増えて良かった。(教職員の声)



代表児童・教職員など約40人が参加



ソメイヨシノ



看板を設置



記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：2本
 植付株数：60株
 緑化面積：220.6㎡
 樹木の手入れ：30本
 記念樹銘板設置
 緑地整備に関する外構工事

参加者数

学内・学外：約40人
 計：約40人

緑化植物

ソメイヨシノ、クローバー、
 コウライシバ、タマリユウ

村松小ビオトープ活性化事業

茨城県東海村立村松小学校



事業概要

児童や地域住民が自然体験や学習を行える学校ビオトープの維持のため、学校・地域コミュニティ・専門の事業者と連携して、整備作業を実施した。長年にわたり、地域コミュニティの協力で除草作業、枝打ち等を行っているが、今回の事業では、水生植物の植栽、階段や橋の設置を行った。

事業成果

今回整備された、水路の橋や階段により、観察会での人の流れがスムーズになった。看板の設置により、学校ビオトープの存在をより周知することができた。植栽により、より多くの植物について児童が観察することができるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・自然の地形を活かした貴重な学校ビオトープであり、今後も長く維持できるように努めていきたい。(専門家)
- ・長年、地域や子供たちに親しまれてきたビオトープだが、コロナ禍により、子供たちの活動がやや停滞してしまった。今回の整備をきっかけに、再びビオトープに子供たちが戻ってくることを期待している。(教員)

参加者の声

- ・歩きやすくなって、ビオトープでの観察がしやすくなった。(地域ボランティア)
- ・新たに植えた草花の花が咲くのを楽しみにしている。(児童)
- ・これからもビオトープを大切にしていきたい。(児童)



完成式典



ビオトープ活性化事業のPR



整備されたふれあい広場



ビオトープの様子がわかる掲示板

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：60本
下刈面積：28ha
除草作業：3回
擬木橋：4カ所
擬木階段：1カ所
観察会：3回

参加者数

地域：500人
計：500人

緑化植物

ミカン、ヤマアジサイ、コムラサキ、ヒガンバナ、セリ、ミソハギほか

学校環境緑化モデル事業

栃木県鹿沼市立楡木小学校



事業概要

手入れがされず機能しなくなった池や築山を再生し、子どもたちの学習教材として活用するとともに、子どもたちが学校生活の中で自然に親しめる環境を作り、命や自然を五感で感じ感性を高めることを目的とする。主な活動は、①バードガーデン、バタフライガーデンとしての植栽。②メダカ池・水生生物池としての再生。③自然観察会との連携による自然環境学習。

事業成果

子どもたちは、興味関心を持って木の実を見たり、触ったり、池をのぞいたりし、まだ確認できていない小鳥や蝶が訪れる日を楽しみにしている。今後、池は理科や生活科の観察等で使用し、プール掃除時のヤゴ救出作戦で救ったヤゴを放流する予定である。また、地域の方から「池ができたんですね」と声をかけられるようになり関心を持っていただけました。

事業をよく知る関係者の声

- ・楡木小学校の周りが市街地化で徐々に自然が失われている中、学校では水生生物のための水辺ビオトープとチョウの食草を中心とした野原ビオトープを造成した。水辺ビオトープでは造成中からカゲロウが飛び交い、植樹したエノキの葉ではアカボシゴマダラの幼虫が育っている。子どもたちが大好きな命あふれる校庭になるだろう。(鹿沼自然観察会会長)

参加者の声

- ・この事業にたくさんの人たちが私たちのために協力してくださったことが、すごいなと思い、うれしかった。
- ・これから築山や池に生き物が来るのが楽しみ。生き物に会えたらたくさんふれあいたい。
- ・「もっと自分たちの周りの環境を大切にしよう」「自分たちも自然を守りたい」と思った。(児童・栽培委員会)



完成式典



記念植樹



代表児童・教職員など97人が参加



水辺ビオトープ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：11本
ビオトープの造成

参加者数

学内：7人
学外：90人
計：97人

緑化植物

クヌギ、コナラほか

学校環境緑化モデル事業

栃木県上三川町立明治小学校



事業概要

目的は、隣接するコミュニティセンターの方々との交流の場として、花壇の造成を行うことである。主な活動は、クチナシの植栽、花壇の整備等。

事業成果

とても立派な花壇が完成した。今後はコミュニティセンターの方々との交流の機会も増えると思われる。

事業をよく知る関係者の声

- ・明治コミュニティセンターを利用する地域の方々との交流の場として、樹木等を整備したり、花壇を設置したり

していただき感謝している。ともに憩える環境を整えていただいたことにより、地域社会に開かれた教育課程を実現していきたいと考えている。(小学校)

参加者の声

- ・明治小学校に樹木を植えてくださってありがとうございました。樹木が大きくなるのがとても楽しみ。
- ・自分の募金が明治小の緑化に繋がってとてもうれしい。これからも募金を積極的に行いたい。
- ・明治コミュニティセンターの方と一緒にパンジーの苗を植えることができたので、これからも大切に育てていきたい。(栽培委員会)



記念植樹



代表児童・教職員など26人が参加



花壇にパンジーの苗を植える



明治コミュニティセンターの方と花壇の造成

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：5本
花壇の整備
低木刈込

参加者数

学内：14人
学外：12人
計：26人

緑化植物

クチナシ

平井小グリーン大作戦

群馬県藤岡市立平井小学校



事業概要

本校のシンボルとなっているサクラが成長とともに敷地外にも大きく枝を伸ばしたため、樹形を整えるための剪定を行う。また、新たに緑地花壇を設置し、児童が花木や草花と親しみ、環境問題や自然環境への関心を高められるよう整備する。具体的な事業内容は以下のとおり。①サクラ7本を対象に剪定及び養生。②キンモクセイ3本を植栽。③木製花壇を7.5㎡造成。

事業成果

この事業により、サクラがきれいな形になり、新たな緑

地花壇で花づくりを楽しめるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・剪定したサクラを大切に育てるとともに、緑豊かな平井小学校を築いてほしい。
- ・新たに設置した木製花壇で、周辺住民にも喜ばれる四季折々の花を咲かせてほしい。

参加者の声

- ・緑を大切にしたいと思った。
- ・立派な花壇にしたいと思った。



看板を設置



キンモクセイを植樹



完成式典



代表児童・教職員など19人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.08a
 植付本数：3本
 剪定本数：7本
 花壇の造成：7.5㎡

参加者数

学内：13人
 学外：6人
 計：19人

緑化植物

植付：キンモクセイ
 剪定：サクラ

今宿小学校 わたしたちの森事業

埼玉県鳩山町立今宿小学校



事業概要

児童の緑を大切にしたいという気持ちを育み、自然について考える場を作ることを目的に本事業に取り組んだ。栽培委員会の児童が話し合い、植樹する木を次の理由で選定した。シダレザクラ：本校の緑化運動のシンボルとなるように。キンモクセイ：季節を感じるため。柑橘類を中心とした果樹：植物を育て、その恵みを頂くことを学ぶため。合計20本の木を植樹し、緑化を進めた。

事業成果

今回の学校環境緑化モデル事業は、予算面等で困難な学校緑化を進めていく最良の機会となった。児童は、自分たちでどの木を植えるかについて話し合って決め、植えたことで「責任をもって大切に育てていきたい」「伝統として残したい」という自然愛護の気持ちが育まれた。また、果樹を植えたことで、どのような恵みが得られるのかと、児童が興味を持ち、成長を温かく見守っている様子が見られる。

事業をよく知る関係者の声

- ・本校は、郊外に位置する学校で、比較的里山と呼ばれる林や森が多くある。しかし、児童には、それらは少し遠い存在であった。この緑化運動に取り組み、木を育て、木を守る活動を行うことで、今回の植樹を行った場所を起点として、本校の緑化運動をさらに進めていきたい。さらには、自分たちの地域の里山の環境にも目が向き、行動を起こせるようになればと思う。

参加者の声

- ・植樹に携わった児童は「早くこのシダレザクラに花がつかないかな」「いつになれば、この実は食べられるようになるの?」と関心を寄せていた。植樹に携わった栽培委員長は記念植樹の際に「今はまだ、小さな木ですが、この木を私たち今宿小の児童が大切に育て続け、丹精こめて手入れをし、緑豊かな場所に変えていきたい!」と思います。」と、この緑化事業に対する思いを述べていた。



植樹



看板設置



記念植樹



記念式典

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2a
植付本数：30本
環境整備面積：2a
イベント：1回

参加者数

学内：197人
学外：18人
計：205人

緑化植物

シダレザクラ、クヌギ、ミカンやレモンなどの柑橘類の果樹、キンモクセイ

ビオトープの整備

千葉県市原市立国府小学校



事業概要

本校には、昭和62年に湧き出た井戸水を利用した、児童・教職員手作りの「ビオトープ」があり、児童の憩いの場として親しまれていた。しかし、令和元年度の台風によりビオトープは荒廃してしまったため、復旧整備が課題であった。本事業では、自然環境の保持及び児童たちの学習フィールドとして再び活用できるようにビオトープの整備に取り組んだ。

事業成果

ビオトープ完成式典を通し、多くの方々の支えでビオトープが完成したことを児童たちは再確認することができ、感謝の気持ちを持つことができた。また、ビオトープをきれいに保つためにはどうしたら良いかと、水をきれいにする生き物や水草を自主的に調べる児童たちが増え、完成したビオトープが環境教育の一環としての役割を担うように

なりつつある。

事業をよく知る関係者の声

- ・学校環境緑化を推進するこの事業は、学校の環境をより良くするだけでなく、環境教育の一環にも繋がり、大変ありがたい事業であったと感じる。完成した本校のビオトープは構造上どうしても水深が浅くなってしまっているので、どうしたら生物をうまく生息させていけるか、今後児童・教職員で考えていきたい。(学校長)

参加者の声

- ・自分の出身小学校にはこのような湧き水等はなかったので、とてもうらやましいと思った。児童たちにもこのビオトープを誇りに思ってもらいたい。(PTA 会長)
- ・今はまだ生き物はいないが、これからいろいろな生物や植物が生息するとうれしい。生き物を見に、もっと多くの子どもたちが集まってくると思う。(児童会長)



ビオトープと看板



代表児童・教職員など105人が参加



植樹



ビオトープを観察する児童たち

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：5㎡
植付本数：27本

参加者数

学内： 91人
学外： 14人
計：105人

緑化植物

サツキ、キンシバイ、サルスベリ、スイレンほか

ビオトープ池整備工事

東京都墨田区立第三寺島小学校



事業概要

本事業では、児童が主体となって、地域の生き物を守るために考えた持続可能なビオトープの造成を目指す。その過程において、児童が地域の生き物やビオトープについて調べ、多様な生物が地域の環境と関わって生きていることを学ぶとともに、地域の環境や生物について意識しながら生活できるようにする。

事業成果

本校の敷地内にビオトープがあることで、児童が地域の自然に対して意識するようになり、これまでビオトープを訪れることがなかった児童が、ビオトープの様子を見たり虫を探したりするようになった。ゲストティーチャーを招きビオトープや地域の自然について教えていただいた後、前年度考えたビオトープ案を考え直すことで、児童は、地域の自然を守りたいという気持ちを高めていた。

事業をよく知る関係者の声

- ・旅の途中に立ち寄る生き物たちが、次の場所に元気に旅立っていくまでの、居心地の良い休憩場所が出来上がった。この場所を生き物がもっと気に入るように、更に改良を加える努力も続けてほしい。(ビオトープについて教えてくれたゲストティーチャー)

参加者の声

- ・最初は生き物が暮らせれば良いと思ってビオトープを考えていた。でも、話を聞いたり調べたりして自然を大切にしてビオトープを作ろうと考え直した。このビオトープが三寺小の伝統になるようにしていきたい。(4年生児童)
- ・ビオトープを作る中、みんなで意見を交換したり出し合ったりして、相談する力が付いた。これからは積極的に活動に参加しようと思う。(4年生児童)



ビオトープの池まわり



ビオトープ全体像



授業「ビオトープ再生物語」4年生



完成式典

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：9㎡
植付本数：2本
総合的な学習：15時間

参加者数

学内・学外：60人
計：60人

緑化植物

サザンカ、ミカンほか

「ホテルの森・ウォーターパーク」事業

神奈川県平塚市立富士見小学校



事業概要

本校の教育活動、特に総合的な学習の時間、理科、生活科の学習を展開する上で必要な環境を整え、児童の環境教育に関わる活動が効果的に展開できるようにする。主な活動は以下のとおり。①ホテルの森の歩道整備。②ウォーターパークの橋の新設。③ポンプ小屋の新設。④ウォーターパークの整備。⑤水生植物の植え替え。⑥ふじみ水族館の水槽設置。

事業成果

本校の中庭にあるビオトープ「ホテルの森・ウォーターパーク」を中心に生き物とふれあう学習活動を展開することができた。そのために橋やポンプ小屋の新設、水生植物の植え替え、ふじみ水族館の水槽設置など教育の場を充実させることができた。

事業をよく知る関係者の声

・児童の学習活動の幅が広がり、充実した活動をするこ



完成式典



上から見たホテルの森・ウォーターパーク



夏にホテルが飛翔する水辺



ホテルの森・ウォーターパークの約束の看板等

ができた。

- ・今までできなかったことができるなど、思い切った活動を行うことができた。
- ・水生植物を植え替えたり、橋やポンプ小屋を新設したりすることで、持続可能な長く富士見小学校の大切な学習活動の場として整備することができた。

(校長・4年生担任・ビオトープ委員会担当教諭)

参加者の声

- ・ホテルの飛翔や自生を目指して友達と協力して取り組むことができた。
- ・ビオトープ委員として、富士見小学校の自慢であるビオトープで活動することができて良かった。
- ・みんなが気持ち良く「ホテルの森・ウォーターパーク」を使うために約束を考えたり、全校に放送したりすることで、小さな命について考えることができた。

(4年生児童・ビオトープ委員会児童)

実績とりまとめ

作業内容

植付株数：44株
 ホテルの森の歩道整備
 ウォーターパークの整備
 ウォーターパークの橋の新設
 ポンプ小屋の新設：2棟
 ポンプケース制作：2セット
 ふじみ水族館の水槽設置：
 6セット
 水槽台・ベンチ制作：3台

参加者数

学内・学外：約140人
 計：約140人

緑化植物

ショウブ、ウォーターポピー
 ほか（主に水生植物）

南小三浦メダカのビオトープ

神奈川県三浦市立南下浦小学校



事業概要

地区の自然環境再生を目的に新規ビオトープの設置を行った。6学年児童が自分たちで生物環境を整備することを目標として、年間の学習の折々に時間を設け計画的に設置を行った。理科や総合学習ともリンクし、生物環境や食物連鎖、SDG'sの観点に着目しながらも、環境再生だけでなく、各学年の理科や生活科などでも利用できる学校ビオトープを目指した。

事業成果

今回の事業をきっかけに、身近な虫や鳥などの生物の環境について関心をもつ児童が増えた。なかには数が減っていく生物を守る必要性などについて語る児童も現れ、自ら三浦半島に生息していた生物や、本ビオトープに生物を呼ぶ方法について調べる様子もみられた。長期的に見て三浦半島における生物環境保護の一助になったのではないかと考える。

事業をよく知る関係者の声

- ・児童が主体的に環境活動へ取り組む学習ができる良い機会となった。限られた校地内だが、各学年が観察できる位置に設置ができた。今後、ビオトープの管理体制の維持や設置時の思想を継承する等の課題については、管理者が複数代変わっても必要な情報は看板等に記載するといった対策が必要だと感じた。

参加者の声

- ・このビオトープを作る学習をするまで、私たちが住んでいる地域で、昔は住んでいたはずの虫や鳥たちが、次々と姿を消していることは全然知らなかった。昔と同じような自然を再現しなければ、これからは生物は減っていくということを知って、クラスみんなで協力して、自然な水辺を作った。私たちは卒業するが、南小を中心に三浦半島からいなくなってしまった生物が帰ってきてくれることを楽しみにしている。



児童によるビオトープ作り



木で自然な水辺を再現



出来上がったビオトープ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1本
植付株数：25株
ビオトープ設置：12㎡
イベント：1回

参加者数

学内：20人
学外：4人
計：24人

緑化植物

クワ、水生植物

花いっぱい、笑顔いっぱい運動

神奈川県大和市立桜丘小学校



事業概要

児童が植物に関心を持ち、自然に対する敬愛の念が抱けるように、学校花壇の整備、植栽の充実を図る。また、児童も一緒に活動し、華やかな花壇を学校の特徴の一つとすることで、母校への想いや地域への意識を向上させていく。主な活動は、花壇の土壌改良と各季節に咲く花の植栽。

事業成果

登校する児童が、花の開花を教えに来てくれたり、手入れをしているボランティアの方に種類の名前を聞いたり、作業を手伝ったりするなど、植物への関心が高まっている。また、図工や理科などでスケッチや観察の対象として活用している。卒業式や運動会、授業参観で訪れた保護者が、花壇で児童と一緒に写真を撮る姿も見られた。卒業式では児童の育てた花が飾られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・以前の卒業式の時、花壇の前で写真を撮る姿は見られなかった。せっかく立派な花壇があるので、写真を撮りたくなるような花壇をつくろうと思い、整備、植栽を行った。手入れを行っている時、児童が手伝ってくれたり、花の名前を聞いてきたり、関心が高まっていることを実感した。卒業式の時、花壇の前で笑顔で写真を撮っている姿を見て、事業の成果を感じることができた。

参加者の声

- ・チューリップの球根の植え付けを行った。1年生の時に鉢で育てたことがあったので、懐かしかった。植える深さ、土の被せ方など、1年生の時はその意味がよくわからなかったけれど、説明を受けて、「そうだったのか。」と納得した。春にきれいな花が咲いてくれることを願って、丁寧に土を被せた。みんなで水をあげ、様子を見ていきたいと思う。



花いっぱいの花壇



花の植付指導



児童による作業

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：400㎡
植付本数：300本
イベント：5回

参加者数

学内：100人
学外：30人
計：130人

緑化植物

スイセン、チューリップほか

中央小学校みんなの森事業

富山県黒部市立中央小学校



事業概要

目的は、ビオトープ環境の再整備及び整備を兼ねた危険木の伐採である。主な活動は以下のとおり。①高木（危険木）の伐採・剪定作業、②ビオトープ池の堆積物除去・清掃作業、③中低木の剪定作業。

事業成果

高木（危険木3本）等の伐採・剪定により、樹林内の日照環境が改善され、ビオトープとしての機能回復が期待できる。また、隣接する歩道や電線類への影響を排除・低減でき、安全面等からみても良かった。

事業をよく知る関係者の声

・高木の伐採作業等、安全に配慮して行うことができた。

- ・今回の事業によってビオトープがより安全で楽しく過ごす場所となった。今後も引き続き維持管理に努め、児童の学習の場等として活用していきたい。
- ・伐倒木の再利用を含めた有効活用について、児童と一緒に検討したい。

参加者の声

- ・今回の環境整備で東側の大きな木を3本伐採していただいた。ぼくは木が伐られる様子を写真で見て、これまであった木が伐採されて少し寂しい気がしたけれど、この環境整備のおかげで、より安全で楽しく過ごすことのできるビオトープになってうれしい。（小学生男子）
- ・今回はありがとうございました。これからも中央小学校の自慢のビオトープを全校で大切にしていきたいと思う。（小学生女子）



ビオトープ池の堆積物除去・清掃



クレーンを使用した高木の伐採作業



高木伐採で明るくなった「みんなの森」



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

伐採本数：3本
樹木剪定
ビオトープ池の堆積物除去・清掃

参加者数

学内・学外：約15人
計：約15人

学習の森整備事業

富山県射水市立新湊小学校



事業概要

目的は、本校の創校150周年を記念し、学習の森の既存樹木群の環境再整備を行うことである。主な活動は以下のとおり。①樹木の伐採・剪定作業、②本校のシンボル赤門からグラウンドに抜ける遊歩道の線引き、③遊歩道を囲むブロックへのペイント作業（全校児童による）、④遊歩道の踏み板にするための伐採樹木の輪切り作業、⑤丸太の踏み板と、伐採樹木の破材をウッドチップにし遊歩道に敷き詰める作業。

事業成果

手入れが行き届かず伸び放題となっていた樹木を大胆に伐採・剪定したことにより、鬱蒼として薄暗く物騒な雰囲気があった学習の森が、明るく開放的な空間になった。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の事業により、本校のシンボル赤門や、旧校舍時代からあったモニュメントが改めて多くの人の目にふれるようになった。創校150周年を記念して、児童や地域の方が本校の歴史を振り返る機会となったことはうれしい。
- ・伐採した樹木の一部を遊歩道の踏み板やウッドチップにして敷き活用したことは、子供たちにSDGsの視点を広げるきっかけとなり教育的にも意義深かった。
- ・学習の森という名前にふさわしく、春みつけや秋みつけ、昆虫採集等、様々な学習の場として活用したい。

参加者の声

- ・遊歩道で遊ぶことを考えるとわくわくする。150年の歴史を残すことができたので、新湊小が統合しても、新湊小の思い出として大切に守っていききたい。（児童）
- ・この新たな新湊小学校のシンボルを大切に守ってほしい（PTA副会長）



テープカット



学習の森 遊歩道



アジサイを記念植樹



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2㎡
 植付株数：1株
 伐採本数：12本
 剪定本数：11本
 歩道整備：35m

参加者数

学内：246人
 学外：6人
 計：252人

緑化植物

植付：アジサイ
 剪定：クロマツ、スギほか
 伐採：クロマツ、ツツジほか

南郷小学校前庭緑化整備事業

石川県加賀市立南郷小学校



事業概要

校門付近の樹木が10m以上に大きく成長し、公道にはみ出た部分が折れるなどして登校時の安全性に問題があるため、校門・前庭整備と景観を良くするための緑化整備を行った。主な活動は以下のとおり。①学校正門付近の10m以上ある樹木の枝落とし、②正門前の花壇に低木のサツキツツジを植樹。

事業成果

令和6年度に創立150周年を迎えるにあたり、懸案であった校門付近の公道にはみ出していた樹木の整備ができ良かった。サツキツツジの植樹により前庭も整えられた。地域の方にも喜んでいただき、また、校門前が明るくなることで防犯にも繋がるため、本事業に大変感謝している。

事業をよく知る関係者の声

- ・完成式典の様子から当該事業の実施を通じて子どもたち



代表児童・教職員など58人が参加



サツキツツジを植樹



完成式典の様子



学校付近の公道に面した樹木整備

の緑や花への関心の高まりがうかがわれ、自然を慈愛する豊かで和やかな心の成長が期待される。(県緑化推進委員会の方より)

- ・樹木を植えて数十年経つと大きくなり、安全面や防犯上など手入れの必要性を感じるが、整備には多額の費用がかかりどの学校でも課題となっている。このような事業は大変助かる。(教員)

参加者の声

- ・前庭付近の木を切ったり植えたりしてくださってありがとうございました。前庭が明るくすっきりし、不審者対策にも役立つと思う。ローソンの募金のお金で工事が行われたと聞いてとても感謝している。私たちも今年、緑の募金に参加したので、そのお金が石川県の自然を守ることに使われるとうれしい。これからも、自然いっぱいの石川県になるよう協力していきたい。(6年代表児童)

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：20㎡
植付本数：20本
除伐面積：0.1ha
イベント：1回

参加者数

学内：57人
学外：1人
計：58人

緑化植物

サツキツツジ

あらやっこの森事業

石川県小松市立荒屋小学校



事業概要

あらやっこの森（児童の遊び場・学習の場）周辺の樹木が大きく成長したことで、大量の落ち葉で児童が滑り、排水溝が詰まる問題や、樹木の影で薄暗くなった環境は防犯面で課題となっていた。以上を改善する目的から、樹木の伐採やヒイラギの木を植樹して、あらやっこの森の環境整備を行った。

事業成果

あらやっこの森の整備により、落ち葉が減少し、森が明るくなった。これまで以上に、学習時には、低学年・生活科で「虫探し」「秋見つけ」等の活動を積極的に行えた。また、休み時間には、築山周辺で遊ぶ児童も多くなった。あらやっこの森が明るく、安全な場となり、本事業に感謝している。

事業をよく知る関係者の声

- ・完成式典の様子から、子どもたちに「ローソン緑の募金」事業の主旨が理解され、子どもたちの緑や花への関心の高まりがうかがわれ、自然を慈愛する和の心の成長が期待される。（県緑化推進委員会）
- ・長年の間、あらやっこの森の活用や防犯上の手入れが課題だったが、整備費用面で学校単体では実現できなかった。この事業のおかげで実現できて良かった。（教員）

参加者の声

- ・あらやっこの森周辺の木を伐っていただき、ありがとうございました。とてもスッキリとして、鬼ごっこや、虫探しなどを楽しく行えるようになった。また落ち葉が少なくなったおかげで、滑ることもなくなり安全に遊ぶこともできる。荒屋小学校の児童が、このあらやっこの森で、楽しく遊べるようになったことを感謝している。（6年児童）



あらやっこの森で秋見つけ



あらやっこの森で虫探し



完成式典



ヒイラギを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：40㎡
植付本数：1本
除伐面積：5㎡
イベント：1回

参加者数

学内：16人
学外：3人
計：19人

緑化植物

ヒイラギ

鳴鹿小環境美化推進事業

福井県坂井市立鳴鹿小学校



事業概要

校舎周辺の多種多様な樹木が大きく茂り、隣り合う樹木同士がぶつかり合うようになった。また、ビオトープ周辺については、混み合った樹木により日光が遮られるなど、生き物が住みにくい環境になりつつあった。本事業では、生き物が住みやすい環境を整えることを目的に、樹木の剪定・伐採、実がなる樹木の植栽を行った。

事業成果

この春から6年生を中心として、以前は鳴鹿地区に生息していたホタルを呼び戻す活動に取り組んでいる。今回、ビオトープ周辺の樹木を剪定や伐採したことで、生き物が住みやすい環境が整備され、樹木自体も枝葉が整えられたことで、生き生きとしている。学校全体の雰囲気が明るくさわやかになったように感じられる。

事業をよく知る関係者の声

- ・多種多様な樹木が植わっている豊かな環境は児童にとって望ましい。しかし、校舎の高さを超える樹木や、枝葉が敷地外の歩道にまで伸びていたため、児童の学習活動や通学の安全が気がかりであった。本事業により樹木が整備され、景観や環境が良くなったと感じている。今後の課題は、樹木の維持管理上、継続的な支援が必要だと考えられる。

参加者の声

- ・緑が多い学校であることは、魅力の一つであると考えていたが、なかなか手入れが難しい状況だということも感じていた。そのような中、今回の事業により校舎周辺の樹木全般にわたって整備されたことで、非常に景観がよくなり、喜ばしいと感じている。今後も、是非こうした事業を活用して、維持管理をしていってほしい。(保護者)



校舎付近の樹木の手入れ後の様子



完成式典(活動発表)



記念植樹



代表児童・教職員など28人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：10㎡
植付本数：4本
除伐面積：0.72ha

参加者数

学内：22人
学外：6人
計：28人

緑化植物

植付：ブルーベリー、レモン
伐採：クヌギ、サクラ、ケヤキ、イチョウ、コナラ、プラタナス、マツ、ツゲ、サザンカ、キンモクセイ、イチイ、ヒマラヤスギ、モミジ、ナンテン、イチジク、ホオノキ、トベラほか

敷島小グリーンいっぱいプロジェクト

山梨県甲斐市立敷島小学校



事業概要

目的は、緑を育て守る活動を通して自然を愛する精神を醸成し、環境教育の推進を図ることである。主な活動は以下のとおり。①枯損木の撤去及び抜根と処理、②植栽工事と整地、③児童による完成記念行事の実施。

事業成果

枯損木の撤去及び抜根と処理を行ったことで倒木の危険がなくなり児童の安全が図られた。また、新たに植樹をしたことで景観が良くなり、樹木の生育も良くなった。花の美しい姿や、鮮やかな緑の様子を見て、心が動かされたという児童が多く、植物の持つ良さを実感する機会となった。

事業をよく知る関係者の声

・本校の樹木は、どれも年数が経っている。特に校庭の東

側には老木が多かったので、若木を植えていただいてこれから伸びていく木の生命力を感じることができた。児童にも樹木の持つ力を感じてほしい。(学校職員)

・環境は人をつくる。自然環境は人の心知らず知らずに豊かに育んでくれる。この「緑の効果」が、今後、敷島小の財産になっていくことを信じている。(校長)

参加者の声

・全国で緑の募金活動に3億円ものお金が集まっていることを知った。環境問題に関心が高い人が多いことが分かり、改めて環境は大切だと思った。(6年児童)

・敷島小学校は今年度150周年を迎える歴史のある学校だ。校庭にエノキの大木があるが、植樹した若い木と比べることで、その大きさや生きてきた年数を実感することができ、植物の生命力を感じた。植樹した木も大切にしていきたい。(6年児童)



看板を設置



校庭に植栽



完成式典にて看板の除幕式を実施



代表児童・教職員など60人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：30㎡
 植付本数：3本
 伐採本数：1本
 剪定本数：2本
 幹・枝処理：1式
 伐根処理本数：2株

参加者数

学内：58人
 学外：5人
 計：63人

緑化植物

ハナミズキ

やちだも150周年プロジェクト

長野県白馬村立白馬南小学校



事業概要

児童が自然に親しむ場を作りたいという願いと、令和5年度の学校創立150周年の記念事業の一環として、学校の教育環境整備・緑化推進や、児童の思い出に残る築山の造成、植樹を実施した。

事業成果

草の上に寝転んだり、築山の斜面を滑ったり、転がったりしながら友達と遊ぶ姿が見られた。今後は植樹したサクラが成長して子どもたちの楽しい遊び場となるだろうことを予感させる。また、冬季にはクロススキーの良い練習場にもなりそうである。

事業をよく知る関係者の声

- ・築山については、低学年の児童でも上り下りでき、安全に遊べる場所ができた。記念植樹で植えたオオヤマザクラも、これから子どもたちとともに育ち、良い思い出になってくれると思われる。

参加者の声

- ・思ったより小さいなと感じたが、実際に上ってみると高さがあり、気持ち良かった。(児童)
- ・草の上を転がって遊ぶのがおもしろかった。(児童)



築山の造成



完成式典



児童・教職員など122人が参加



記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：約4㎡
植付本数：1本
築山面積：約64㎡

参加者数

学内：102人
学外：20人
計：122人

緑化植物

オオヤマザクラ

創立 150 周年緑化事業

長野県須坂市立須坂小学校



事業概要

令和5年度に創立150周年を迎える本校は、13年前に同じ敷地内に須坂支援学校が開校し、共生社会を生きる子どもを育てる学校として運営をしている。様々な人と関わりながら、150周年を記念した庭を造成したいという児童の願いのもと、校門前の敷地に人々の憩いの場となる庭園づくりを実施した。

事業成果

地域の学校を地域で盛り上げた活動にしたいこと、造園の専門知識を持った方に支援をしていただきたいことから、児童らと相談し、須坂創成高等学校農業科の生徒さんと協働で実施する庭づくりが実現した。高校生が学校で学んだ知識を本校児童に教授・支援するやりとりは、暖かい交流を育むことに繋がった。児童と生徒のアイデアで造り、思いのこもった庭となった。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 高校生の先輩を信頼し、頼って植樹する様子や、高校生も小学生にわかるよう身振り手振りを交えて教えている様子から、交流する良さを感じた。創立150周年記念の事業として、校内の活動に収まらず、高校生と関わることで活動が広がり良かった。創成高校の生徒さんとは今後も交流を続けると聞き、これからの活動が楽しみになった。

参加者の声

- ・ 高校生のおかげで植え方がわかった。交流でき良かった。高校生は頼もしい。(小学6年生)
- ・ きれいな花壇をつくりたいと思っていたのでアドバイスをもらえて良かった。(小学6年生)
- ・ 自分たちが植えた芝生の上に寝転がったらとても気持ち良かった。(小学6年生)
- ・ 小学生だった自分の頃を思い出した。学んでいる造園を通して交流できたのは良い機会。(高校生)



看板を設置



児童らが植栽



6年生全員による活動発表



完成した園庭にて

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5ha
植付本数：272本
イベント：5回

参加者数

学内：250人
学外：50人
計：300人

緑化植物

ヤマボウシ、キンモクセイ、
ジュンベリー、ツゲ、モミ、
ライラック、アジサイ、コウ
ライシバ、シバザクラ

開校150周年記念「かしの木よ永遠に」事業

岐阜県垂井町立府中小学校



事業概要

20年前の開校130周年を記念して植栽した三代目かしの木を子どもたちの目の触れる場所へ移設するとともに、そこに集うことのできるベンチも設置した。併せて、かしの木のどんぐりから育てた四代目かしの木の苗木を植えた。

事業成果

子どもたちにとって、シンボルツリーの存在が身近になり、かしの木の元を集って学んできた府中小学校の歴史や未来を感じることができた。また、開校150周年を迎える前に、地域の人たちの注目も集まり、ふるさとを見つめなおし、発展させていこうという機運が高まった。

事業をよく知る関係者の声

- ・かしの木の移設だけでなく、かしの木のどんぐりから芽吹いた苗木をさらに植樹する「つながり」を感じる事業ができた。今後も大切にしていきたい気持ちが育めた。(校長)

参加者の声

- ・自分たちの成長をかしの木に見守ってほしいと思った。(児童代表)
- ・かしの木にかかわる思い出が子どもたちの中にもたくさんあることがわかった。また、防災に関わり、かまどになるベンチを備える取り組みも、地域の役に立つことに繋がった。(学校運営協議委員)



移植した三代目のかしの木



看板を設置



児童・教職員など約230人が参加



四代目のかしの木を記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1本
 移設本数：1本
 ベンチ設置：2基
 イベント：1回
 憩いの場設置

参加者数

学内：223人
 学外： 8人
 計：231人

緑化植物

シラカシ

東明小学校敷地内樹木剪定事業

岐阜県可児市立東明小学校



事業概要

東明学校の校庭環境や子どもたちの学習環境の向上を図るため、以下の活動を行った。①小学校の校庭周辺に植えられているサクラ、カイヅカイブキ、メタセコイア等、約60本の剪定、②事業を記念して、ハナミズキ2本を植樹。

事業成果

東明小学校は、校庭が広く、その周囲に多くの樹木が植えられている。3年前に開校50周年を迎えており、樹齢50年を超える木々があるが、学校敷地外へ多くの枝葉が伸び、近隣の住宅や農地に枝葉が落ちている状態であった。今回の事業で木々の枝葉が剪定されたことにより、校庭が美しい環境となっただけでなく、近隣への落ち葉を減らすことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・校庭が大変すっきりとし、美しい環境となった。整った環境の中で学べることは、小学生にとって大変貴重なことである。また、剪定されたことで、樹木の枝葉が、近隣の住宅や農地(田んぼ)に落ちて迷惑をかけることがなくなり、大変ありがたい。

参加者の声

- ・緑に囲まれた広い運動場は、私たちの誇りだ。そんな私たちの運動場の木を、とてもきれいにしていただき、ありがとうございました。きれいな緑の中で、運動会を行うことができ、みんな一生懸命に頑張った。これからも、この運動場で、みんなと仲良く元気に遊んだり、勉強をしたりしたい。(児童代表 環境委員長の声)



樹木の枝を剪定



田んぼに面している樹木の枝を剪定



植樹したハナミズキ横に看板を設置



ハナミズキを記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：40㎡
 植付本数：2本
 剪定面積：1200㎡
 剪定本数：60本
 イベント：1回

参加者数

学内：4人
 学外：7人
 計：11人

緑化植物

ハナミズキ

北小創立50周年記念プロジェクト

静岡県長泉町立北小学校



事業概要

目的は、令和3年度に創立50周年を迎えたことを機に、ポストコロナの時代を見据え、子ども達が緑に囲まれた中で友だちと集い、憩うことのできる中庭を創り出すことである。主な活動は、中庭に植樹し、その周りにベンチとテーブルのセットを設置した。

事業成果

50周年を記念して、自分たちの願いがこもった記念樹を中心とした憩いの広場で過ごすことにより、自然とのふれあいを深め、自然環境に興味を高めるなど、環境学習が推

進される。また、50周年を記念した憩いの場を完成させた大切な思い出として記憶される。

事業をよく知る関係者の声

- ・森林を大切にしていける学びの場として大いに活用していく。また、環境教育に関心を高めていきたい。

参加者の声

- ・きれいになった中庭に負けないよう勉強して、自然や地球環境を守り、明るい未来を築きたい。(完成式典代表児童)



整備された中庭



記念植樹



完成式典



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1本
 剪定本数：8本
 中庭整備：
 テーブルベンチ、芝張り

参加者数

学内：163人
 学外：4人
 計：167人

緑化植物

イロハモミジ

わくわくの森 ドキドキの池 保全プロジェクト

静岡県静岡市立松野小学校



事業概要

目的は、「なりたい自分を目指し、続けて挑戦する松野っ子」という重点目標達成のために取り組んでいる「松野ふるさと郷育」の舞台となる学校林・ビオトープの整備。活動は以下のとおり。①学校林のコナラ伐採、サクラ枯枝の処理、②ビオトープの水辺及び周辺の緑化等。

事業成果

安全面からこれまで懸念されていた学校林奥の古木を林業家の方々に伐採していただき、安全な学校林になった。台風で甚大な被害を受けたビオトープが復旧し、さらに整備作業でメダカ・ホタル・チョウなどの生物や植物が生息す

る環境をつくっていただいた。

事業をよく知る関係者の声

- ・台風被害からボランティアのご協力を得て復旧した「新しいビオトープ」をこれから子どもたちの手でつくり、学びの場としてさらに発展させていただきたい。

参加者の声

- ・台風の被害の時は気持ちが沈んでしまったが、復旧・整備作業で新しいビオトープをつくることができるのとてもうれしい。
- ・学校林がさらに安全になり、探検しやすくなったので、調べたいことをたくさん見つけたい。



学校林整備



ハナミズキを記念植樹



復旧したビオトープ



完成式典

実績とりまとめ

作業内容

- 【ビオトープ整備】
- 植付本数：6本
- 植付株数：160株
- 【完成式典記念樹】
- 植付本数：2本
- 【学校林の手入れ】
- 伐採本数：2本
- 枯枝処理：3本

参加者数

- 学内：60人
- 学外：20人
- 計：80人

緑化植物

- 植付：ハナミズキ、ミカン類、エノキ、カラスザンショウ、水際植物（スゲ類ほか）、ブツトレア、フジバカマ、ショウブ・アヤメほか
- 伐採：コナラ
- 枯枝処理：サクラ

どんぐりの森改造計画

静岡県掛川市立横須賀小学校



事業概要

6年生がみんなで遊べるような中庭にしたい、との思いからスタートした中庭改造計画。遊べて、1・2年生が身近な自然に親しみながら学ぶことができる「どんぐりの森」に改造することにした。活動内容は、①日当たりを良くするために、元々植えられている樹木の伐採、②どんぐりの木を4本植樹。

事業成果

中庭に植えられていた樹木の伐採で、日当たりが良くなり、広いスペースが確保できた。これにより、植栽したどんぐりの木が生育できる環境に加え、中庭での活動の幅が広がった。また、どんぐりの木をマテバシイ(1本)、コナラ(1本)、クヌギ(2本)の3種類を選定したことにより、バラエティーに富んだどんぐりを採取できるようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・コロナの関係で、完成式典を児童代表という形で実施した。ぜひ、全校児童にお披露目したい事業であった。
- ・広いスペースの活用については、今後、アイデアを子どもたちから募る予定である。
- ・どんぐりの木が大きくなり、どんぐり採取できるようになったら、1・2年生の生活科で活用できる。

参加者の声

- ・子どもたちとふれあえる貴重な経験をした。
- ・子どもたちは寄付をしてくれたおかげで、中庭が整備されことに感謝している。
- ・10年後くらいに、本事業の成果が表れることから、未来に向かって語り継いでいきたい。



完成式典



クヌギ・コナラ・マテバシイを植樹



中庭の整備



看板設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：100㎡
植付本数：4本
除伐面積：100㎡

参加者数

学内：16人
学外：6人
計：22人

緑化植物

クヌギ、コナラ、マテバシイ

スマイル花壇をつくろう

静岡県森町立飯田小学校



事業概要

学校の花壇(学級用以外)ができてから年月が経ち、老朽化している。花壇の世話は、スマイル委員会の児童が毎日水やりを行ったり、草取りをしたりしているが、児童数も昔の半分以下になってしまい手が回らない。そこで、老朽化した花壇を直しつつ、児童数に見合った大きさに作り直すことにした。また、学校内にある樹木の剪定をし、樹木を安全に健康な状態にする。

事業成果

花壇の手入れは児童だけでは手が回らないため、花壇ボランティアが、月1回花壇の手入れ(育てた苗の植栽、植え替え、草取りなど)をして頂いている。しかし、ボランティアの高齢化に伴い、花壇のリニューアルの希望が出ていた。今回の事業で、花壇をリニューアルして、とても世話が楽になるとともに、見た目もすっきりと美しくよみがえった。

また、運動場から道路に出ていた大きな樹木の枝が剪定され、形が整い、安全になった。

事業をよく知る関係者の声

- ・今回の事業で花壇をリニューアルしたことで、本当にきれいにスリム化できた。この事業がきっかけで、花壇を囲む道もきれいにしなくなり、追加で職員によって防草を兼ねた道に作り直した。

参加者の声

- ・花壇がきれいになり、草取りもしやすくなってうれしい。水やりも花壇全体にかかるようになって良かった。(委員会児童)
- ・通路がきれいになったので、草取りがしやすくなった。花壇がきれいになってうれしい。(委員会児童)
- ・花壇がきれいになってやりがいがある。(花壇ボランティア)



花壇の手入れ



児童らも一緒に花壇の整備



きれいにスリム化された花壇が完成



完成式典

実績とりまとめ

作業内容

剪定本数：10本
花壇の再整備面積：31.2㎡
通路の設置：防草シート貼り、
玉砂利敷

参加者数

学内：17人
学外：3人
計：20人

十四山西部小学校みんなのおま森事業

愛知県弥富市立十四山西部小学校



事業概要

目的は、学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育を推進することである。主な活動は以下のとおり。①運動場東側の伐採作業、②運動場東側の剪定作業、③運動場の周囲の植栽作業。

事業成果

幹の内部からクビアカツヤカミキリが大量発生し、腐食した木や及び枯れ木の伐採を行った。また、密集している部分の枝や強風にあおられ折れそうになっている枝の剪定を行った。植樹に向けて、切り株を掘り起こし、薬剤を注入して整地を行った。その後、柑橘系の木やサクラなどの植樹を行い、緑化教育を推進することができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・老朽化したサクラの木や害虫による被害を受けた木、手入れがされていない老木を伐採や剪定をすることにより、明るい環境ができあがった。
- ・子どもたちが希望した木を植えることにより、木に愛着がもてる。

参加者の声

- ・学校の中の緑が少ないと感じていたので、木をたくさん植えていただけてうれしい。植樹は初めて行った。このような機会をいただいて、たくさんの方々に協力していただき、木を植えることができたので良かった。このままずっと、木が枯れずに大きく育ってほしい。(小学6年)



代表児童・教職員など98人が参加



記念植樹



伐採・剪定前



伐採・剪定後

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1ha
植付本数：15本
剪定本数：10本
伐採本数：10本
イベント：1回

参加者数

学内：91人
学外：7人
計：98人

緑化植物

サクラ、シイノキ、スタジイ、ココスヤシ、モミジ、キンモクセイ、サクランボ、ミカン、レモン、アマナツ

フナビオの森再生プロジェクト

愛知県東海市立船島小学校



事業概要

船島小学校のシンボルであるビオトープは16年前に完成し、2010年には国土交通大臣賞を受賞。しかし、近年は老朽化が進み、ビオトープでの学習活動が減り、児童の関心も低下していた。本事業では、ビオトープで利用している井戸周辺の整備を行い、生き物の観察活動が行いやすいスポットを作るとともに、児童のビオトープへの関心を取り戻そうとした。主な活動は以下のとおり。①井戸水がたまる池の泥を取り除く。②池周辺に敷石・碎石を整備する。③井戸水を受ける舟形石を設置する。④完成式典を行い、ビオトープの整備を周知する。

事業成果

委員会の児童と地域のシルバーさんが協力してビオトープの泥を取り除く作業を行うことで、児童はビオトープが地域からも愛されるものだと感じる事ができた。また、

整備された井戸周辺に児童が来て遊ぶようになり、生き物の観察など今後の学習活動への積極的な活動が期待される。

事業をよく知る関係者の声

- ・自分たちの力でビオトープがきれいになったと感じた児童が多かったと思う。積極的にビオトープに関わる活動ができたおかげで、ビオトープへの関心がこれからも継続されると良い。(緑化園芸委員顧問)
- ・きれいになった井戸周辺を、今後の生き物観察などの学習活動につなげていきたい。(校務主任)

参加者の声

- ・古くなったビオトープがきれいに生まれ変わった。これまでは井戸の周りに来ることはあまりなかったけれど、また来なくなる井戸になった。これからもビオトープがみんなにとって大切な場所になるように、大切にしていきたい。(緑化園芸委員長)



川の整備・清掃



整備されたビオトープで完成式典を実施



記念植樹



代表児童・教職員など55人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1本
池回り整備：1回
泥さらい：1回
完成式典：1回

参加者数

学内：40人
学外：15人
計：55人

緑化植物

ヒメコブシ

緑に親しめる学校づくり事業

愛知県豊橋市立くすのき特別支援学校



事業概要

本校は平成27年度に開校した。開校時「季節を感じ、花の香りに包まれ、いつでも緑と親しめる学校」をコンセプトに植栽された。しかし、開校から8年が経過し、生育状況が良くなかったり、枯れてしまったりした樹木があったので、樹木の植え替えを行った。

事業成果

今回の事業を実施するにあたり、改めて開校時のコンセプトを再認識した。このことにより、校地内緑化を整え、より良い学校環境を作っていくことを確認した。また、正門付近に市花のツツジを植えることで、市としてのお出迎え

の気持ちを表現できると考えた。

事業をよく知る関係者の声

- ・生育状況が良くないあるいは枯死した樹木の植え替えを行った。樹木が育たないのは土壌や植える場所の日照条件がその樹木にあっていないのではないかな。今後の生育状況をよく観察する必要がある。

参加者の声

- ・春になりサクラが咲き、ツツジが咲くと新しい年度が始まると感じられる。たくさんの花に出迎えられると気分がワクワクする。元気な樹木を見ると心穏やかになる。



学校関係者・県関係者など9人が参加



記念植樹



正門近くに植えられたヒラドツツジ



記念樹近くに看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：41本

参加者数

学内：4人

学外：5人

計：9人

緑化植物

ソメイヨシノ、ロドレイヤ、常緑ヤマボウシ、ヒラドツツジ

川崎小学校フレンドリー緑化事業

三重県亀山市立川崎小学校



事業概要

4年前に新校舎が建築され校舎周りも整備されたが、2年前の猛暑で中庭や農園周りの植木が枯れてしまい修復できない状況が続いていた。本事業により、枯れてしまった植木の補植、校内の環境整備を進める。

事業成果

中庭や農園周りに補植し、校内の緑化を進めることができた。完成式典には6年生児童と、地域の方も参加。学校だけでなく本事業のことを掲載、学校の児童はもちろん、保護者、地域の方にも校内の緑化が進められたことを周知できた。

事業をよく知る関係者の声

- この事業で植樹してもらったことで、中庭や農園に緑が戻り、うれしく思っている。緑豊かな環境が、子どもたちはもちろん学校を訪れる人たちにも、安心や安らぎを与えてくれるだろう。

参加者の声

- 卒業の記念として、緑化事業の植樹を行うことができ、小学校での思い出が1つ増えた。小学校を卒業してからも、遊びに来た時、僕たちが植えた木を見ると、小学校のことを思い出すことができると思う。在校生のみんなに、きれいになった中庭やフレンドリー農園の周りの緑をこれからも大切にしてほしい。(記念式典スピーチより)



事業前の農園周り



植樹作業の様子



事業後の中庭



完成式典

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：4ha
植付本数：431本

参加者数

学内：82人
学外：7人
計：89人

緑化植物

ヒラドツツジ、サツキ、ドウダンツツジ、ハナミズキ

塩浜小学校みーつけたの森事業

三重県四日市市立塩浜小学校



事業概要

春～秋にかけて、学習林「みーつけたの森」を中心に雑草が生い茂り、子どもたちが立ち入ることができなくなる。そのため、木々の剪定、雑草の草刈りを行い、防草シートを敷き、その上にウッドチップを撒く作業を行った。また、子どもたちの憩いの場となるよう、植樹を行い、より豊かで魅力的な森に整備した。

事業成果

樹木剪定を実施したことで、森全体に差し込む光が増え、森が明るくなった。また、森全体に防草シートを敷き詰め、その上からウッドチップを撒いたことで、地面がふかふかとして子どもたちの遊び場として最適である。木々にストラックラインを設置したことで、たくさん子どもたちが森へ足を運ぶようになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・森全体の整備により、子どもたちの運動量が増えたことは喜ばしい。今後の可能性として、異学年のペアで本の読み聞かせを森の中で実施するなど、森に親しむ機会を意図的に増やすことで、子どもたちにとって「お気に入りの場所」になると思われる。体力向上を促進する場としての活用も考えたい。

参加者の声

- ・植樹した木が実をつけるのが楽しみ。
- ・友達と森の中でいっぱい遊びたい。
- ・春になったら、生き物探しをしてみたい。
- ・私たちが大人になったとき、今回植樹した木が大きくなって、「みーつけたの森」がよりステキな場所になっていることを楽しみにしている。



代表児童・教職員など208人が参加



塩浜小学校キッズボランティア
会員証



看板を設置



子どもたちもスコップや鍬で土をならす

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：22本
下刈面積：0.3ha
除伐面積：0.3ha
イベント：1回

参加者数

学内：203人
学外：5人
計：208人

緑化植物

ヤマザクラ、レモン、ウメ、
ミカン、クヌギ、マテバシイ、
ザクロ

学校正門前の緑化による環境整備

京都府立八幡支援学校



事業概要

学校の顔となるべき学校正門前の植栽スペースについて、既存の樹木が経年により枯れたり折れたりしており、景観上だけでなく施設管理上の課題となっていた。今回、当該スペースにサツキツツジを植栽するとともに、散水用パイプを整備し、学校緑化の推進を図ることとした。

事業成果

これまでに枯れたり折れたりし、貧弱になっていた植栽スペースが緑で埋め尽くされたことで、学校の顔である正門前の景観が飛躍的に向上した。また、散水用パイプを併せて整備したことで、灌水が容易かつ確実にするなど、管理面でも大きく向上した。

事業をよく知る関係者の声

- ・見える形で大きな変化があったことにより、今回の整備を環境や緑化について学習するきっかけとした。とりわけ、徒歩や自転車に登下校する生徒にとっては毎日目にする場所であるため、自然や環境に対する意識の高まりが見られる。将来的には、生徒達自身が管理していくようなことも考えたい。

参加者の声

- ・正門の雰囲気が変わって良くなった。(児童)
- ・緑がいっぱい。きれい。(生徒)
- ・門柱の煉瓦と植栽のコントラストが良い。(保護者)
- ・サツキの花が咲くのが楽しみ。(保護者)
- ・環境学習の教材としたい。(教職員)
- ・水やりなどサツキツツジの管理を生徒に任せてみる良い機会ではないだろうか。(教職員)



植栽スペースにサツキツツジを植栽



代表児童・教職員など11人が参加



看板を設置



花咲くサツキツツジ

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：34.3㎡
植付本数：170本
イベント：1回

参加者数

学内：8人
学外：3人
計：11人

緑化植物

サツキツツジ

孔舎衛東小学校 ビオトープ「光の里」改修事業

大阪府東大阪市立孔舎衛東小学校



事業概要

10年以上前に完成した本校のビオトープ「光の里」では、ホタルの幼虫を放流し、成虫になる6月末に「ホタルの夕べ」を開催していた。このイベントには本校児童や地域の方も見に来られていた。しかし、ビオトープの老朽化が進み、児童は危険防止のため、立ち入ることができない状況であった。本事業では再び児童が立ち入りできるビオトープの復活を目的に、老朽化したビオトープおよび周辺の整備を実施した。

事業成果

地元の「ホタルの会」の支援もあり、児童が水辺の動植物を観察できる、みんなの憩いの空間が完成した。

事業をよく知る関係者の声

- ・ビオトープの歴史が明らかになり、児童に伝える機会となった。

参加者の声

- ・整備されたビオトープを見て児童が喜んでいました。
- ・ホタルの学習で育てた幼虫やえさとなる貝を実際に放流できる。



完成式典



記念のホタルの幼虫を放流



よみがえったビオトープ「光の里」



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：15㎡

下刈面積：15㎡

イベント：1回

参加者数

学内：124人

学外： 8人

計：132人

みどりっこトープ事業

大阪府池田市立緑丘小学校



事業概要

校内にある老朽化したビオトープの再生について児童が主体となって考え、また、親しみが持てる場となるようビオトープ整備を行った。なお、本事業を実施した児童が3年生の時にビオトープの手入れをしたが、整備した状態が保てなかった。この結果を問題提起とし、どのような手立てが必要かを考え「みどりっこトープ大作戦」と題し、1年間携わった。

事業成果

児童が、ビオトープの生態系を調べ、どのような環境が適しているのかを考え、時には外部講師からのアドバイスをもらうことで、より学びを深めることができた。そして、本事業をきっかけにビオトープだけではなく、身近な環境問題に繋げて考えている児童も多くおり、次の課題を設定することができるようになっていた。

事業をよく知る関係者の声

- ・児童が考えたビオトープの完成図や計画に基づいて、活動の支援やアドバイスを行った。地元で育った動植物を提供し、池田市で活躍している講師の方やお店を紹介することで、地元で根付いたビオトープをつくることができた。今後も学校と地域とで協力しながら、より良い自然環境づくりに努めていきたい。

参加者の声

- ・生物や植物をただ加えるだけでなく、それらが生息しやすい環境づくりの大切さを学んだ。また、誰もが心地よく自然を感じられる場所にするため、ルールを決め、それらを下級生に知らせる報告会などを開催し、学校全体で自然を守ろうとする意識ももてた。これからも、自分たちができる活動を考えながら、社会の環境問題について考えていきたい。



代表児童・教職員など約80人が参加



5年生の代表がみどりっこトープの紹介

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：9本
 看板設置：1基
 草花の植付
 ウッドデッキ設置
 ビオトープ内の整備
 ビオトープの見学：1回
 生態調査

参加者数

学内：77人
 学外：3人
 計：80人

緑化植物

イヌツゲ、レイランディー

美園小学校 みんなの森事業

大阪府八尾市立美園小学校



事業概要

子どもたちにきれいなものを感じる豊かな心を育てるための環境教育の一環として、また、創立50周年記念事業のため、校内緑化に向けた取り組みを実施した。主な活動は、記念樹木の植樹、年2回の花の植え替え、植木の剪定。さらに、次年度以降も継続的な環境緑化整備に向け、プランター、土、電動耕運機、高圧洗浄機、ベンチ、整理棚等を購入した。

事業成果

本事業に取り組み、子どもたちは、緑や花などきれいなものを感じ取り、植え替えをしている校務員やPTAの役員等に「ありがとう」の声掛けを行っている。豊かな人間性の向上に大きく貢献でき、環境の整備や感動する心の育成に役立った。また、学級菜園の耕地に際しても職員が少数数でも電動耕運機の使用により時間の短縮が図られた。

事業をよく知る関係者の声

- ・校務員さんや地域のボランティアの方が花を植えている様子を見て、子どもたちはいい笑顔で話しかけてくれる。また、花の名前を聞いたりしている。季節を感じ、心を育てられていると思う。(教職員)
- ・みその小学校にはきれいな花がたくさんさいていて気持ちがいい。こうむいんのひら山さんがあつい日もさむい日も水やりしてくれている。ありがとう。(児童)

参加者の声

- ・創立50周年の年に庭の整地ができて、ありがたい。PTA役員として節目の時期に記念に残るものができうれしく思う。美園小学校はいつもカラフルなのですが、いつもにも増して花が多く、その分子どもたちの気持ちが優しく育ってくれることを願っている。また、校長先生はじめ、学校の先生方、地域のボランティアの方々が子どもたちのためにいつも動いてくださっていることに感謝している。(PTA緑化推進委員)



代表児童・教職員など14人が参加



記念植樹



花の植替え(年2回)



植木の剪定

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：15㎡
植付本数：51本
下刈面積：15㎡
イベント：1回

参加者数

学内：8人
学外：6人
計：14人

緑化植物

カイノキ、サツキツツジ、ヒラドツツジ、オタフクナンテン、アベリアコンフェッティ

学校環境緑化モデル事業

兵庫県養父市立養父小学校



事業概要

目的は、児童の環境緑化への意識を高めるため、学校と地域のシンボルである桜並木の保全措置に取り組み、次代に引き継ぐ桜苗木の植栽を行うことである。主な活動は以下のとおり。①4年生の児童が植栽。桜の特徴や性質、土づくり等について学習・体験する。②既存樹木の保全。樹木医による診断、枯枝除去、土壌改良等を実施する。③植樹した桜の管理を4年生の児童が卒業まで担う。

事業成果

今回の事業に取り組んだ4年生の児童は、学校生活の思い出や卒業後に自分たちの手で植え、育てた桜の成長を思うことにより、ふるさと意識が涵養されていくことが期待できる。また、桜並木の桜(21本)についても樹勢回復のために処置を行ったことで、今後も地域の象徴として愛され続けることができる。

事業をよく知る関係者の声

- ・児童にとって森や木は身近だが、樹木医から改めて木について教わり、土づくり、栄養剤注入など、児童たちがこれまでに経験したことがない取り組みができた。自分たちが植えた桜がこれから大きく育ち、桜並木の1本となることから、ふるさと意識の向上と森林、環境について関心を持つ契機となる良い機会が得られた。(50代、小学校教諭)

参加者の声

- ・この細い苗木が、ほかの木のように大きく成長できるように、大切に見守っていきたい。(小学生女子)
- ・近隣の住民の多くが同小学校の卒業生のため、小学校の桜並木は身近でふるさとを感じるものである。樹齢が90年を超えるものもあり、樹木医を頼んで処置してもらい良かった。児童が植樹を通して森林、環境について理解でき、事業に取り組んで良かった。(50代男性)



代表児童・教職員など23人が参加



桜や植樹の仕方を学習



サポートを受けながら児童が植樹



植樹後に保護柵を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：1㎡
植付本数：1本
除伐面積：1㎡
イベント：1回

参加者数

学内：15人
学外：8人
計：23人

緑化植物

サクラ(ジンダイアケボノ)

緑いっぱい笑顔いっぱい金橋ガーデン

奈良県橿原市立金橋小学校



事業概要

目的は、本校の広い中庭を木や花に癒やされ四季を感じることができる空間にすることで、子どもたちが休みに時間に廊下から中庭を見下ろしたり、中庭を散歩したり自然とふれあい、憩いの場となるよう整備することである。主な活動は、①中庭の整備、②木の植樹、③木々の間を子どもたちが歩ける歩道の製作。

事業成果

本校は、旧金橋村を歴史にのどかな田園風景が広がる中にあり、今年で131年目を迎える伝統校である。近年は、宅地開発が進み、大型ショッピングモール、新興住宅などが急激に増え、自然がなくなっている状況であった。今回、中庭を整備していただくことにより、子どもたちは休みのたびに中庭を見下ろしたり、散歩したりすることで、自然

に触れる機会、自然への関心を増やすことができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもの成長とともに、木々の成長や春に草木の花がたくさん咲くのが楽しみ。(保護者、来校者)
- ・今までも、この中庭をなんとかできればと考えていたので、学校のため、子どもたちのために、とてもやりがいのある仕事をさせていただいた。(事業の施工者)

参加者の声

- ・私たちは、この春卒業するが、この「金橋ガーデン」というネーミング募集に関わったことや、この式典に参加させていただいたことを光栄に思う。(6年生児童)
- ・卒業しても、また学校を訪れたとき、たとえ先生方が転勤しても、この木や花が私たちを迎えてくれるので母校訪問がとても楽しみ。(6年生児童)



学校の中庭「金橋ガーデン」



看板を設置



緑豊かになった花壇



代表児童・教職員など110人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.0157ha

植付本数：132本

参加者数

学内：90人

学外：20人

計：110人

緑化植物

ハナミズキ、モミジ、ロウバイほか

木の实いっぱい蝶々たくさん、みんな大好き和歌浦小学校

和歌山県和歌山市立和歌浦小学校



事業概要

目的は、運動場の一角にある有効利用されていない花壇を、子どもたちが親しみを持ち、常に様子を見に行きたくなるように作り替えることである。活動は、花壇の解体・設置、実のなる樹木の植栽。

事業成果

新しくなった花壇に興味をもち、様子を見に行く児童が増えた。また、実のなる樹木としてブルーベリーやジュンベリーを植樹したため、「青くなってきた、食べたらおいしいかな」と成長を楽しみにする児童もたくさん見られた。式典に参加した6年生児童は、「僕たちが卒業してもきれいにしていきたい」という思いをもち、責任をもって手入れをしていく意欲をもたせることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちのために美しい花壇の設置計画をしてもらえて大変ありがたい。工事中から完成予想図等を大きく掲示するなどしてもっと早い段階から子どもたちに周知しておくとともに良かったのではないかな。今後、児童と職員で力を合わせて丁寧に花壇の手入れを行い、魅力を損なわず、魅力をさらに向上できるようにしてほしい。

参加者の声

- ・記念式典で子どもたちが元気に踊ったブルーベリーの歌が大変良かった。
- ・花壇が見違えるほどきれいになったのでまた子どもたちと観察の時間を設けたい。
- ・「花壇がきれいになってうれしいです。」「はやくブルーベリーが食べたいです。」「毎日みています。」(児童)



整備された花壇



完成式典にてブルーベリーの歌とダンスを披露



子どもたちも記念植栽して花壇を完成



代表児童・教職員など89人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：15.36㎡
植付本数：126本
イベント：1回

参加者数

学内：80人
学外：9人
計：89人

緑化植物

ブルーベリー、ジュンベリー、ハナミズキ、ガザニア、ブッドレア、ツツジ、シモツケ、アベリア、ユキヤナギ、ウエストリンギア、クチナシ

太田っ子の森のプロジェクト

和歌山県和歌山市立太田小学校



事業概要

目的は、校庭にある小山（太田山脈）を児童たちが自然学習・環境学習時などに安全に立ち入って使用できるよう改善することである。主な活動は以下のとおり。①植樹、歩道や階段の設置。②児童たちが安全に立ち入りできるように危険箇所の整備。

事業成果

この太田っ子の森を造る経験を通して、自分たちの手で創り上げる喜びや、人との関わりの大切さを学ぶことができた。また、それを見ていたその他の児童たちが、今度は自分たちの手で何かに挑戦してみたいという意欲を持たせ

ることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちを立ち入れるようにするために、古い切り株や大きい石などを撤去し、坂をなだらかにし、芝生を生えるようにした。今後この太田っ子の森で、多くの子どもたちが楽しめ学べるようになってほしい。

参加者の声

- ・記念式典での植樹の際、子どもたちの元気な姿を見ることができた。今後、この太田っ子の森が子どもたちの憩いの場となってくれることを祈っている。



施工前の太田っ子の森



階段の設置



記念植樹



整備後の太田っ子の森の前に看板設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.03ha

植付本数：15本

除伐面積：0.03ha

イベント：1回

参加者数

学内：59人

学外：7人

計：66人

緑化植物

シラカシ、ウバメガシ、ハナミズキ、アジサイ

岩美西小学校子どもの森整備事業

鳥取県岩美町立岩美西小学校



事業概要

開校31周年目になる本校には、開校当時に整備をした子どもの森がある。子どもたちの大好きな森であるが、木々の成長とともに見通しが悪くなり、枝も張り出している。また、遊具等も遊びにくくなっており、思い切り走り回ることできない。そこで、子どもたちにとって、より親しみやすく、遊びやすい森にするため、枝の剪定、除伐、下刈りを行い再整備する。

事業成果

子どもの森を整備したことにより、子どもたちが思い切り走り回ることができるようになった。遊具でも遊びやすくなり、休憩時間に遊ぶ児童が増えている。また、見通しがよくなり、全体的に明るくなったことから、防犯上の効果も見られる。

事業をよく知る関係者の声

- ・この状態を保つことが大切。
- ・保護者・地域等の方の協力を得て、維持作業をしていく必要がある。
- ・防犯の上でも安心できるようになった。
- ・けがの心配が少なくなった。
- ・遊具で遊ぶ子どもたちの様子がよくわかって良い。(保護者の声)

参加者の声

- ・思い切り走れるようになった。
- ・広がって遊びやすい。
- ・遊具が使いやすくなった。
- ・ドングリ拾いができるようになって、うれしい。
- ・前より明るくて、遊んでいると楽しい。(子どもたちの声)



整備前の子どもの森



枝の剪定、除伐等の整備



森の中を走り回る子どもたち



代表児童・教職員など約30人が参加

実績とりまとめ

作業内容

除伐本数：18本

剪定本数：62本

下刈り

参加者数

学内：27人

学外：3人

計：30人

緑化植物

除伐：クヌギ、ヒサカキほか

剪定：アカマツ、クスノキ、

マテバシイほか

社小学校みんなの森事業

鳥取県倉吉市立社小学校



事業概要

歴史ある本校は、前庭・校庭にたくさんの木が植えられ緑豊かな学校である。しかし、木々の背が高くなり枝も伸びすぎていて、日当たりや風通しが悪くなっている。本事業では、前庭・校庭の緑環境を明るく気持ちの良い環境にすることを目的に、木々の伐採・剪定を実施した。

事業成果

木の伐採剪定を行っていただいたことで、学校が明るくなり、気持ち良く生活できる環境が整った。また、緑を守るための大人の活動を知り、子どもたちも緑化や環境保全について考えるきっかけとなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちの学び舎が、明るくきれいになりうれしい。
- ・木々があまりに高くなりすぎたため、PTA作業ではなかなか整備できなかった。専門の方に整備していただき、とてもありがたい。(保護者の声)

参加者の声

- ・学校が明るくきれいになった。
- ・校舎が良く見えるようになり、広く感じる。
- ・ローソンの募金で緑化事業が行われていることを初めて知った。
- ・私たちの学校のようにきれいになる学校が増えると良い。募金に協力したい。(子どもたちの声)



施工前の前庭



剪定の様子



施工後の前庭



代表児童・教職員など18人が参加

実績とりまとめ

作業内容

剪定本数：75本

参加者数

学内：11人

学外：7人

計：18人

緑化植物

剪定：サクラ、モミジ、キンモクセイ、コウヤマキ、モッコク、ツツジほか

吉田小ビオトープ整備事業

島根県雲南市立吉田小学校



事業概要

目的は、池（なかよしの池）に生息している水生生物（モリアオガエル）や植物が生息・生育しやすいように、そして、児童が生き物の観察等ができるように水辺環境を整備することである。活動は以下のとおり。①池の水を給水する水源地を整備し、安定した水の供給を行う。②池周辺の樹木の剪定や池に生えている不要な水生植物の除去を行う。

事業成果

モリアオガエルが住みやすい環境が整い、総合的な学習の時間を中心に継続して、モリアオガエルの観察や飼育を行っている。また、池や水源地の環境が整い、生物の観察や生き物探し等をする機会や児童が増えた。

事業をよく知る関係者の声

- ・モリアオガエルは「島根県の絶滅のおそれのある野生動物」の準絶滅危惧（NT）に指定されており、全国的に見て

も減少傾向にある。このカエルが学校の池に毎年、産卵にやってくる吉田小学校は稀有な事例と言える。今回の学習を通してカエルに関する知識やそれらを取り巻く自然環境に興味・関心を持っていくことは、地域への誇りや愛着へと繋がることと思う。児童にとっての身近な存在であるモリアオガエルが、今後も変わらずにいられる環境が続くことを願ってやまない。（エピオネネイチャーガイドオフィス 池田友紀）

参加者の声

- ・こわれたところを工事してもらって、水がたくさんなかよしの池にいくようになって、池がきれいになった。きれいになった池にいくと、カエルがうれしそうにピョンピョンとんでいた。
- ・モリアオガエルがたくさん卵を産んだ。卵からオタマジャクシ、カエルになるまで育てた。モリアオガエルについて、もっと知りたいし、なかよしの池にたくさんカエルがくるとうれしい。



なかよしの池で遊ぶ児童たち



整備された「なかよしの池」水源地



なかよしの池にきたモリアオガエル



高学年 理科 微生物の観察

実績とりまとめ

作業内容

水源地環整備面積：35㎡
なかよしの池環境整備面積：50㎡

参加者数

学内・学外：約50人

ふれあいの森再生事業

島根県飯南町立赤来中学校



事業概要

校舎裏にある「ふれあいの森」は、約10年前から整備がされなくなり、笹と灌木が覆い尽くし、人が立ち入れない場所となってしまった。本事業では、生徒が再び活動できる森へと再生するため、以下を実施。①森で成長の良い樹木を選別して残す。②効果的に草の繁茂を防止する。③ヤマザクラの植樹。

事業成果

危険枯損木や支障木の伐採、除伐、枝払いの整備により、かつて部活の体力作りに活用していた道が復活し、学習活動だけでなく部活動でも「ふれあいの森」を活用していく。生徒がネイチャーゲームを実施する事により植物に興味をもってくれた。また、植樹をする事により桜の花が咲くの

が楽しみになった。

事業をよく知る関係者の声

- ・ 今後は「ふれあいの森」を生徒たちの環境教育の場として活用し、森を継続して維持していきたい。
- ・ 生徒に自然との関わりを持つことの大切さや、植樹をする事により、ふるさとを思う情操教育に繋がることを期待する。

参加者の声

- ・ 裏山に、東屋があったなんて思いもしなかった。東屋も活用できるように整備をしていきたい。
- ・ 草ぼうぼうで険しかったが、とてもきれいに整備していただき、うれしかった。



完成式典の様子



ヤマザクラを植樹



ネイチャーゲーム



生徒・教職員など58人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.01ha
 植付本数：8本
 下刈面積：0.8ha
 除伐面積：0.8ha
 イベント：1回

参加者数

学内：50人
 学外：8人
 計：58人

緑化植物

ヤマザクラ

創立50周年記念事業なかまの森修繕事業

岡山県倉敷市立万寿東小学校



事業概要

万寿東小学校創立50周年を記念して、記念植樹をするともに、「なかまの森」の整備・修繕、及び学校のシンボルであるけやき並木の植え込み・修繕を行った。

事業成果

本校のシンボルであるけやき並木や児童がよく遊んでいる「なかまの森」が整備され、学校の緑化環境が改善される。それにより、児童の心身の成長に寄与すると考える。

事業をよく知る関係者の声

- ・12本のケヤキの横を通って登下校している児童も多い。学校の玄関前のけやき並木が整備されたことで、毎日児童が目にする景色が美しくなった。また、「なかまの森」が整備され、大変遊びやすくなったので、児童は大変喜んでいる。

参加者の声

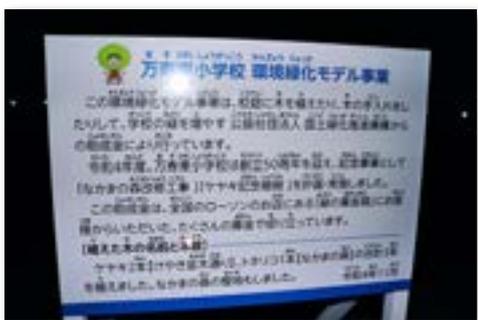
- ・学校の緑化環境が改善され、児童の情操面にも好影響を与えているので、良い事業となっている。



完成式典の様子



代表児童・教職員など24人が参加



看板を設置



記念植樹の様子

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：30㎡
植付本数：3本
イベント：1回

参加者数

学内：21人
学外：3人
計：24人

緑化植物

トネリコ、ケヤキ

学校環境緑化モデル事業

岡山県立岡山盲学校



事業概要

目的は、学校周辺の緑景観の改善や校内のソメイヨシノの樹勢回復である。活動は以下のとおり。①長年手入れできていなかった学校道路沿いのカイヅカイブキ18本の剪定。②加齢に伴い腐朽した部分が多くなったソメイヨシノ5本の枯れ枝や幹の不朽部の除去、薬剤を充填、幹巻テープを巻き養生。

事業成果

学校道路沿いのカイヅカイブキについて、長年手入れができず樹高が高くなり、教職員では危険で剪定できなかつた樹木を剪定し、学校周辺の景観向上に役立った。また、樹幹の腐朽が進行したソメイヨシノを養生することで樹勢を

回復させることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・校内の環境緑化整備とともに児童生徒の安全な学校生活が確保できて良かった。

参加者の声

- ・盲学校のカイヅカイブキ18本とソメイヨシノ5本の木の手入れをしてくださり、ありがとうございます。手入れをされた木を見て、カイヅカイブキのてっぺんが切り揃えられていて驚いた。ソメイヨシノの太い枝を切るのも大変だったと思う。僕は包帯のようなこも巻きをはじめて見た。プロの仕事だと思った。3月に、花が咲いたソメイヨシノを見たい。みんなで花見がしたい。



代表児童・教職員など14人が参加



ソメイヨシノの樹幹を養生



生徒も枝剪定で活動に参加

実績とりまとめ

作業内容

剪定本数：18本
剪定及び養生本数：5本
イベント：1回

参加者数

学内：10人
学外：4人
計：14人

緑化植物

剪定：カイヅカイブキ
剪定・養生：ソメイヨシノ

「常石ガーデン」緑化事業

広島県福山市立常石ともに学園



事業概要

目的は、地域の高齢化等から近隣の果実の栽培、収穫が難しくなっている状況の中、地域の拠点である小学校に果樹園をつくることにより、地域の活性化を図ることである。主な活動は以下のとおり。①学校敷地内への果樹園の造成。②児童と地域の方々がともに行う果実の栽培、収穫、土壌の改良等。

事業成果

果樹園を造成したことにより、多くの地域の方々が興味を持ち、様子を見るために集まってこられる。時には、児童が果樹園で水やりなどをしていると、ブルーベリーやピワなど、それぞれの果実を栽培されていた方や詳しい方が、育てるうえでのポイントや気をつけることなどを話して下さり、自然と交流する機会が生まれている。

事業をよく知る関係者の声

- ・果樹園をつくることができたことは、児童の今後の学びに大きな好影響を与えるものとなる。果実の栽培の難しさを知ることで、さらに自然に興味関心を持ち、より主体的に緑化活動に取り組むことが期待できる。(40代、教員)
- ・今後は、栽培方法や手入れの仕方など、具体的な知識を得るために専門家の招聘も必要ではないか。(60代男性)

参加者の声

- ・子どもたちのうれしそうな表情を見て、今後この果樹園が学校だけでなく、地域の方々が集う場となるよう、子どもたちと一緒に大切にしていきたい。(30代男性)
- ・みんなでしっかりと水やりをして、たくさんの実をつけたい。(小学生男子)
- ・常石ガーデン(果樹園)が学校や地域のシンボルになるように、みんなで大切にしていきたい。(小学生女子)



完成式典の様子



植栽木に水やり



記念植樹



果樹園に看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：20本
果樹園造成：0.02ha

参加者数

学内：60人
学外：4人
計：64人

緑化植物

ブルーベリー、ピルベリー、
キウイ、ピワ

藤の花いきいき再生プロジェクト

山口県下関市立養治小学校



事業概要

下関市立養治小学校のシンボルでもある藤棚をこれからも学校と地域全体で受け継いでいくとともに、学校と地域を結び付け、より良い学校、地域を作り上げる地域連携活動を推進していくことを目的とする。活動は以下のとおり。
①藤棚円柱の塗装等の藤棚の補強、②イロハモミジやドウダンツツジの植栽、③丸太ベンチの製作、設置、④本校の温室の基礎ブロック補修。

事業成果

「大切な藤棚を受け継いでいこう」という気持ちを育むことができ、藤棚に対する素晴らしさや本校の誇りを再認識できた。未来の養治小学校に入学する子どもたちに向けて本校のシンボルを素晴らしい形として残す良い機会となった。イロハモミジやドウダンツツジ等の植栽で、藤棚をより華やかに彩ることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・小学校のシンボルである藤棚をより華やかなものとし、後世に受け継いでいこうとする本事業は、とても素晴らしい事業である。教職員だけでなく、地域の方も参加する学校運営協議会で、どのようなベンチがあったらいいだろうか熟議も行い、より良いものを作ろうという姿も良かった。今後は子供たちの声をもっと取り入れ、藤棚を受け継いでいってほしい。(50代 本校前小学校教頭)

参加者の声

- ・今回は、国土緑化推進機構、やまぐち農林振興公社、ローソンの方々のご協力で、藤棚やベンチを整備していただき、ありがとうございます。普通にあった藤棚がとても貴重なものと知ることができた。今後、藤棚、温室、丸太のベンチを大切に使っていききたい。自分たちが藤棚の素晴らしさ、ありがたさを伝えていき、今後、入学してくる人たちにも受け継いでいきたい。(小学6年男子)



植栽工事後



藤棚鉄骨丸柱工事後



木製丸太ベンチ設置



藤棚パネル木製看板設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.25㎡
植付本数：16本
イベント：1回

参加者数

学内：121人
学外：6人
計：127人

緑化植物

常緑ヤマボウシ、イロハモミジ、ドウダンツツジ、ハナミズキ

学校環境緑化モデル事業

山口県下関市立宇賀小学校



事業概要

宇賀小学校創立150周年を記念して、記念植樹・校地内の樹木への銘板設置、枯れ木の伐採等の環境整備事業を行う。事業をとおして、本校への誇り・ふるさとを愛する心を醸成するとともに、自然や樹木をより身近に感じ親しむことで、豊かな心を育む。また、SDGsとのかかわりを学び、地球規模で考え行動する心と態度を育む。

事業成果

校庭に植樹した四季折々の花を愛でることを楽しみつつ灌水をするなど、児童の優しい気持ちも育っている。樹木銘板は校地内の全30種類に設置した。樹木がそれぞれ違った特徴を持っていることに気づきはじめ、葉の臭いを嗅ぎ、木を触り感触を確かめるなど、五感を通して学ぶ契機となった。

事業をよく知る関係者の声

- ・創立150周年に環境整備作業が実施でき、ローソン事業ならびに店頭で緑の募金に協力して下さったすべての皆様方に感謝している。樹木の銘板設置で、校庭が素敵な公園のようになり、家族や地域の皆さんにも散策してもらいたい。強風時に枝が折れ飛散していた枯木を伐採できたことは、安全面においても大きな成果である。

参加者の声

- ・2年前まで校庭には藤棚があり、きれいな花が咲いていたが、いつの間になくなってしまい残念に思っていた。150周年記念の年に、地域の皆さんと一緒に桜や紫陽花を植樹でき、とてもうれしかった。いつか、みんなでお花見をするのが楽しみだ。(6年児童)
- ・植樹をすることは、SDGsの13・15の具体的な行動でもある。自分たちにできることをこれからも児童と学び行動につなげたい。(教員)



代表児童・教職員など60人が参加



記念植樹



児童の手で樹木等の整備



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：16㎡
 植付本数：14本
 下刈面積：20㎡
 除伐面積：20㎡
 イベント：1回

参加者数

学内：40人
 学外：20人
 計：60人

緑化植物

ヨウコウザクラ・カワヅザクラ
 ラ・アジサイ・ローズマリー

蝶の舞う道を作ろう

徳島県三好市立王地小学校



事業概要

学校内で、理科や総合的な学習時間に、植物の観察や手入れ、飛んでくる虫たちの観察等を行えるよう、体育館南側に樹木を植栽し、腐葉土を利用した畑の整備を実施する。また、愛校作業では管理が困難であった高木の手入れを実施する。

事業成果

学校内に、緑化木・植物などの手入れや観察をする場ができ、理科や総合的な学習の時間の教材として活用できる。そして、校外へ観察に行く回数を減すことができることで、児童の安全面の確保や授業時間を有意義に使うことができる。また、校内の高木の手入れをしていただき、校庭で安心して児童を遊ばすことができる。

事業をよく知る関係者の声

- ・校内で樹木や植物の観察、栽培ができることは、安全面や時短に繋がり、教師の負担も削減できる。機会があればいつでも観察できることがありがたい。桜の木の剪定や病虫害の被害部の除去などの愛校作業等は、安全面や時間的に行えなく、以前からの懸案事項であった。今回、剪定が実施できて良かった。定期的に行っていただければ非常にありがたい。

参加者の声

- ・植樹は機会がないと行わない活動であり、畑作りも人手と時間がかかるため実施しにくい。高木の手入れもできなかったため、今回の事業は学校にとって非常に良かった。植樹した苗木や芋の観察、栽培は、理科や総合的な学習に役立つとともに、子どもたちの情操教育や王地小学校への親しみを深めることに繋がる。



看板を設置



植栽されたレモンとすだちの木



整地した畑



樹木の枝の剪定

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.5a
 植付本数：5本
 剪定本数：19本
 畑整地面積：0.5a
 イベント：1回

参加者数

学内：54人
 学外：5人
 計：59人

緑化植物

レモン、スダチ

環境教育フィールド整備(学校ビオトープ作り)

香川県丸亀市立城北小学校



事業概要

学校の周りに豊かな自然環境がないため、児童に少しでも自然に触れてもらい、自然を愛し、大切にすることを願い、校舎2階に「ビオトープ明倫の里」を整備した。8m×6mのわずかな空間だが、池の中の魚や水生昆虫、ミニ里山のチョウやバッタなどの昆虫、たくさんの花や木が自然な形で共存している。

事業成果

多くの子どもがビオトープに関心を持った。魚、昆虫など、関心の対象も様々である。高学年の子どもには、水の流れる音に癒されるという子もいて、植物、生き物、水が一体になったこのビオトープ全体が、心を落ち着ける場としての役割を早くも担っていることを感じた。地域のコミュニティだよりでも取り上げられた。

事業をよく知る関係者の声

- ・ゼロから自然環境をつくる仕事に携わる中で、ビオトープが出来上がっていくことの喜びを感じつつも、それ以上にそこで生きていく魚や昆虫たちへの愛おしさが増していった。また、工事の様子に関心を持って見守る子どもたちの多さにも驚いた。大人でもこのような感情を抱くものだから、子どもたちはそれ以上に、自然に関心を持ち、自然を愛し大切にすることを態度が養われるものと信じている。

参加者の声

- ・立派なビオトープができたが、これで完成ではない。城北小学校の子どもたちが代々引き継ぎ、「ビオトープ明倫の里」を完成させてほしい。
- ・ビオトープの魚や昆虫をじっくり観察してみたい。水の流れる音を聴きながら、のんびり過ごしたい。
- ・子どもたちの環境に対する意識や思いがさらに深まり、情操面でも良い影響を与えらると思う。



完成したビオトープ



池の生き物に興味津津の子どもたち



記念植樹



記念撮影

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：2本

植付株数：6株

ビオトープ整備工事面積：
48㎡

参加者数

学内：30人

学外：4人

計：34人

緑化植物

ウンシュウミカン、ツワブキ、
パセリ、ニオイスマレ、フジ
バカマ、ローズマリー、チェ
リーセージ

学校環境緑化モデル事業(ビオトープの整備)

香川県高松市 香川大学教育学部附属高松小学校



事業概要

敷地内には、様々な樹木やビオトープ等の豊かな自然があり、生命を愛護する豊かな心を児童に育む環境が整備されているが、ここ数年は、整備および改修ができていなかった。本事業では、子どもたちが身近に自然の良さを実感できる環境を整えるため、「ひょうたん池」周辺の樹木の剪定や池の清掃活動等を行い、池周辺の環境を改善する活動を行った。

事業成果

池周辺の環境が改善し、池の中の水生植物や生き物を身近に感じることができる環境が整うことで、子どもたちが水辺の生き物とふれあう機会が増えた。また、木の剪定により、広場全体が明るくなり、周辺の環境も改善され、子どもたちだけでなく、生態系にとっても住みやすい環境となった。

事業をよく知る関係者の声

- 汚れていた池がきれいになり、子どもたちの憩いの場となった。また、水生生物の放流や水生植物の植栽により、「ひょうたん池」が生き物のすみかとなり、子どもたちの学びや発見に寄与され、子どもたちの笑顔あふれる場所となることを期待したい。

参加者の声

- 池にたまった汚れをとって捨てたり、こすって落としたりするのは、大変な作業だったが、きれいになった池の様子を見ていると、ここで過ごす、生き物たちにとっては、とても過ごしやすい池になったと感じる。これからは、このひょうたん池が、附属高松小学校のみんなにとって、自然や生き物とふれあえる、特別な場所になればいいと思う。そして、わたしたちの手でこれからも、このひょうたん池を、大切に受け継いでいきたい。



樹木の手入れ



子どもたちの手で池の清掃



整備されたひょうたん池と看板



代表児童・教職員など約120人が参加

実績とりまとめ

作業内容

伐採本数：2本
 剪定本数：22本
 池の一本橋の撤去
 飛び石及び石橋の設置

参加者数

学内・学外：約120人
 計：約120人

緑化植物

伐採：ホルトノキ、コデマリ
 剪定：オリーブ、ザクロ、トベラ、クヌギ、カイノキ、エンジュ、ウメ、アンズ、アメリカフウ、クスノキ

ふるさと緑化事業

愛媛県久万高原町立父二峰小学校



事業概要

目的は、倒木の危険性のある大きくなりすぎたメタセコイアを伐採して、日当たりを良くし、サクラ等を植樹して、子どもたちの遊びの場をつくることである。主な活動は、以下のとおり。①メタセコイア3本の伐採、②サクラ、コナラ各2本を植樹。

事業成果

メタセコイアを伐採でき、倒木の危険がなくなった。日当たりも良くなり、周辺の樹木の成長も期待できる。植樹の経験がない児童は、植樹により樹木に対する愛情が深まった。地域産業である林業に対する関心が高まった。自分たちが植樹した樹木を大切にしようとする気持ちが芽生え、成長を楽しみにしている。

事業をよく知る関係者の声

- ・第一に倒木の危険がなくなったことが良い。大きくなりすぎていたメタセコイアが、日光を遮り、場所を暗くしていたが、伐採により場所が明るくなったため、子どもたちもこの場所によく来るようになるだろう。周辺のサクラも苔がついて樹が弱ってきている。そちらの世話も合わせて、植樹した樹木を大切に育てたい。

参加者の声

- ・父の仕事は林業であるが、伐採する現場を見たことがなかったので、作業に驚いた。木の成長には日光も必要と聞き、明るくなって良かった。春にはサクラの花を見て、秋にはコナラのドングリを拾って、季節ごとに楽しみたい。
- ・樹木を植えたり、世話をしたりするという意識は子どもたちになかったので、良い経験である。



メタセコイア伐採の見学



完成記念式典の様子



代表児童・教職員など30人が参加



記念植樹(児童)

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.1ha
植付本数：4本
伐採面積：0.1ha
イベント：1回

参加者数

学内：24人
学外：6人
計：30人

緑化植物

植付：サクラ、コナラ
伐採：メタセコイア

翠校開校 150 周年記念緑化事業

愛媛県伊予市立翠小学校



事業概要

目的は、開校150周年を迎えるに当たり、学校敷地内にある樹齢150年のギンモクセイと100年のクスノキを手入れすることである。主な活動は以下のとおり。①ギンモクセイの剪定及び土壌改良、クスノキの剪定。②ギンモクセイの囲いの修繕。

事業成果

ギンモクセイとクスノキが健康に育ち、良好な樹形を保つことができるように剪定した。また、大樹でありながら日光を浴びることができるようになった。土壌改良や柵の工事を合わせて施工したことで今後も長く健康に育つことが期待できる。

事業をよく知る関係者の声

- ・「翠校開校150周年記念緑化事業」として本事業を活用し、学校と保護者と地域住民が一体となって、式典で盛大に祝うことができた。式典では、愛媛の森林基金様から、山と海の両方を持つ双海町で、「森は海の恋人」が紹介され、畠山重篤の著書が学校に寄贈された。児童が関心を持ち、今後の学習に生かしていくことを願う。

参加者の声

- ・学校にあるギンモクセイとクスノキは、地域のシンボルツリーとして、これまで代々大切に育ててきた。前回の樹勢回復工事から12年が経過しており、このたび必要な手入れができ、大変良かった。



ギンモクセイ樹勢回復



クスノキ剪定



ギンモクセイ囲いの修繕



代表児童・教職員など58人が参加

実績とりまとめ

作業内容

剪定本数：2本
整備面積：50㎡
囲い修繕工事

参加者数

学内：27人
学外：31人
計：58人

緑化植物

ギンモクセイ、クスノキ

木に親しむ事業

高知県大月町立大月小学校



事業概要

大月小学校の児童らが木を身近に感じ、親しむを持つことを目的に、敷地内の環境整備を行った。主な活動は以下のとおり。①支障木の伐採や桜の苗木の植樹、②木製ベンチ等の設置。

事業成果

大月小学校は周囲を山林に囲まれており、危険な支障木が散見されていた。本事業により適正な管理を行うことによって、安全で身近に自然にふれあうことができるようになった。また、桜の苗木の植樹を行うことにより、児童の草木を愛する心を育むきっかけとなった。

事業をよく知る関係者の声

- ・植樹を自ら行うことにより、植樹したサクラの様子を毎日見に行く児童がいる。植物だけでなく命を大切にする心の育成にとっても寄与していると考えられる。今後は花木の選定や企画の段階から児童(生徒会等)に関わりを持たすことも視野に入れても良いかもしれない。

参加者の声

- ・木製カレンダー(木製ベンチを制作してくれた幡多農業高校より寄贈)の日付を変えるのが毎日楽しみ。
- ・私も植樹したかった。
- ・サクラが咲くのが楽しみ。



代表児童・教職員など60人が参加



完成式典の様子



記念植樹



児童からお礼のあいさつ

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：2㎡
植付本数：2本
イベント：1回

参加者数

学内：52人
学外：8人
計：60人

緑化植物

ヤエザクラ

大津小学校中庭整備事業

高知県高知市立大津小学校



事業概要

大津小学校の中庭は、総合的な学習や生活科の学習で利用しているが、近年は、樹木が大きくなったことで薄暗く、蚊や蜂が多くなっていた。そこで、樹木を剪定し、間引きすることで、入り込む日光の量を増やし、児童が活動しやすい場所へと改善する。

事業成果

樹木の剪定、間引き、低木を植樹することで、中庭全体が明るくなり、児童が活動しやすい場所へと改善された。剪定した樹木からも少しずつ新しい芽が芽吹いてきており、樹勢が回復する木が多くあることも期待される。また、一日陰になっていた畑に日が差すようになり、今後は作物を栽培することが可能となった。

事業をよく知る関係者の声

・児童は、中庭が明るくなり活動しやすくなったことや、教

室から外を見た際に見渡しが良くなったと喜んでいる。教職員や保護者からも、景観が良くなり、蜂や蚊等の危険な虫が減ったと喜びの声が上がっている。今後は、学習や児童の憩いの場として、更に活用していきたいという声や、明るくなった理科室前で学習用のメダカやプランクトンを飼育することを試みたいという声が上がっている。

参加者の声

- ・ローソンのレジ横の募金箱のお金が、小中学校の木を植えることに繋がっていることを知り、ローソンに行った時は、1円でもいいから募金に協力したい。
- ・地球温暖化が問題になっているので、二酸化炭素をたくさん吸収してくれる木を増やしていくためにも大切な取り組みだと思った。
- ・伸びすぎていた木を伐ってくださり、こどもの森も明るい雰囲気になった。植樹した苗を責任もって育てていきたい。



樹木の剪定・伐採作業



看板を設置



記念植樹



代表児童・教職員など33人が参加

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：10㎡
植付本数：4本
剪定本数：20本
伐採本数：5本
草刈り面積：0.5a

参加者数

学内：23人
学外：10人
計：33人

緑化植物

植付：サツキ
剪定・伐採：クスノキ、ヤマモモほか

ふれあい花壇緑化事業

福岡県遠賀町立広渡小学校



事業概要

50年ほど前に学校とともに設置された花壇が、長い年月を経て雑草で埋まっていた。本事業では、花壇を創立当初の状態に復活させ、環境美化を図り、児童が虫・鳥・花の観察をしたり、野菜を育てたり、遊び場として活用できるように整備を行った。

事業成果

環境美化が大きな成果のひとつである。職員室前の廊下からすぐ正面に見える「ふれあい花壇」に花が常時あることで、職員や来客、児童にとっても心が癒やされる空間を生み出すことができた。また、子どもたちが野菜や花の生育に年間を通じて携わることで、命や優しい心の大切さを育んでいくことができると考える。

事業をよく知る関係者の声

- ・年に一度、西川沿いの花壇に4年生が花植え活動をしている。今回、このような立派な広い花壇が復活したので、ぜひ、花が咲く前後（土作り・草抜き・水やり等）にも関わって欲しい。この体験により子どもたちに育つ感性があるはずだ。「ふれあい花壇」がそのような学びの場になることを期待する。

参加者の声

- ・すっかり様子が変わった学校の裏庭を見て、もっとはやくこんな花壇を見たかったなと思った。この花壇が全校のみんなや地域の人たちの心をいやす「いこいの場」になればと思う。（児童）
- ・「花や緑」には、人の心を豊かにする力があると感じている。この場所を通じて、本校の子どもたちに優しい気持ちで育まれていくことを願う。（保護者）



着工前の花壇



作業完了



花壇の全景



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：9本
旧花壇の補修
古土の撤去と新土の入れ替え
(土壌改良)
防草シートの設置
バラス敷き

参加者数

学内・学外：約20人
計：約20人

緑化植物

ジンチョウゲ、キンモクセイ、
クチナシ、ヤマブキ、ユキヤ
ナギ、モッコウバラ

水源の森事業

福岡県福岡市立堤小学校



事業概要

本校には、運動場の一角に「ビオトープ」がある。植物を観察したり、虫を捕まえたりと子どもたちの憩いの場となっていた。近年は草木が生い茂り、土の状態も悪く、子どもたちが楽しく安全に観察できる状態ではなかったため、再びビオトープが憩いの場所になるよう整備をした。

事業成果

環境美化が大きな成果のひとつである。児童や保護者にも植栽作業や除草作業に関わってもらったことで、地域と学校がともに作り上げたビオトープとして生まれ変わった。これから様々な学習で活用したり、行事のたびに地域の人に見ていただいたりして、愛される場所になってもらいたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・堤小学校のビオトープが、今回の事業を受けて、きれいに整備されたことは、PTA会長としても感謝の気持ちで一杯である。また、この整備には、児童や先生方のほかに、たくさんの保護者の皆様や地域の皆様にもボランティアで参加していただいた。ありがとうございます。今後も、緑豊かな堤小学校で子どもたちが健やかに育ってほしい。

参加者の声

- ・本年度、僕たち堤小学校のためにビオトープを整備するために頑張ってくださったとうかがった。おかげさまで、より、自然豊かな場所になった。ありがとうございました。生き物や季節ごとの植物を観察したり、調べ学習にいかしたりして、明るく楽しい学校生活をつくっていきたい。



記念植樹



完成式典の様子



代表児童・教職員など約80人が参加



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植栽
看板設置
防水シート張替
ポンプ取替

参加者数

学内・学外：約80人
計：約80人

緑化植物

アジサイ、ハナショウブ、ハンゲショウ、アガパンサス、ツワブキ、ヤブラン、オオカヤツリグサ、芝生

みんなの森事業

福岡県朝倉市立甘木小学校



事業概要

来年度で創立150周年を迎える本校の運動場には、創立時から子どもたちの憩いの場となっている「くすの木」がある。本事業では、校舎北側の手入れが行き届いていない「森」が、子どもたちの憩いの場となるよう、森の名前を募集するとともに、森の整備、植樹を行った。

事業成果

環境美化が大きな成果のひとつである。森の名前は、「きずなの森」に決定。高木の剪定等で、日が差し込む森になった。子どもたちが集う時間や場が整地され、賑やかな声が森から聞こえるようになった。今後も、「きずなの森」を子どもたちの活動の場に意図的に行うことで、緑の中で豊かな心が育まれる教育活動を展開していきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・校庭のくすの木をはじめ、たくさんの緑に囲まれた中で、子どもたちがのびのびと生活できていることをうれしく思う。自分の母校でもある甘木小学校が、今回の事業を受けて、緑が整備されたことを聞き、PTA会長としても感謝の気持ちで一杯だ。今後も、緑豊かな甘木小学校で子どもたちが健やかに育ってほしい。

参加者の声

- ・本年度、僕たち甘木小学校のために森を整備したり、木を植えたりするためにご尽力くださったとうかがった。おかげさまで、学校がより自然豊かで、過ごしやす場所になった。ありがとうございます。ぼくは、大きなくすの木や緑いっぱいの甘木小学校が大好きだ。もうすぐ卒業するが、これからも自然を大切に、明るく楽しい学校生活をつくっていくことを約束する。(児童代表)



記念植樹



「きずなの森」看板設置



完成式典記念写真



事業看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：25本
看板設置：1基
校舎内高所木の整備（枝伐採等）

参加者数

学内・学外：約100人
計：約100人

緑化植物

ヤエザクラ、ラカンマキ

学校環境緑化モデル事業

佐賀県太良町立多良小学校



事業概要

子どもたちに、森林の大切さ、緑化活動への興味・関心を高めてもらうことを目的に、樹木の手入れや森林内での植樹体験を実施。主な活動は以下のとおり。①多良小学校内校庭樹木の剪定や枝払い・伐採、②町有林「多良岳200年の森」での広葉樹とスギの植樹体験、③記念看板設置、④小学校校庭への記念樹植樹。

事業成果

校庭の倒木の危険があった枯木伐採や、繁茂しすぎたイチヨウやソメイヨシノ等の枝払いや剪定を行ったことで、子どもたちの安全確保だけでなく学校内美化の推進を図ることができた。また、町有林「多良岳200年の森」での広葉樹・スギの植樹体験では、多良小学校6年生45名が参加し、1本ずつ子どもたち自らの手で植樹することで、森林が持つ公益的機能についての学びを深めることができた。

事業をよく知る関係者の声

- ・例年1～2月に5年生を対象に植樹体験を行っているが、新型コロナウイルス等の感染症拡大により、例年どおり実施できず、この学年は体験ができないまま卒業してしまうのかと思っていた。時期は遅れたが、植樹体験してもらい、森林の持つ大切さや地域資源の素晴らしさを知ってもらえる機会になり、本当に良かった。(森林組合職員)

参加者の声

- ・子どもたちにとって貴重な体験になったのではないと思う。事前学習をしていた200年の森に行く機会をいただきありがたかった。(小学校教員)
- ・実際に植樹体験を行うことができ、楽しさとともに、大変さも感じる事ができた。(小学生)
- ・200年の木はずっと保ってほしい。この経験をとおり、自然や木を大切にしていきたい。(小学生)



斜面で植付作業



代表児童・教職員など64人が参加



剪定前後のイチヨウの木



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：0.3ha
植付本数：100本
除伐面積：0.3ha
樹木剪定伐採：7本
イベント：1回

参加者数

学内：48人
学外：16人
計：64人

緑化植物

ケヤキ、ヤマザクラ、モミジ、カエデ、キハダ、スギ

観察林「とんとん山」遊歩道整備

長崎県平戸市立田平南小学校



事業概要

子どもたちの学校観察林の活用と森林環境教育を図るため、子どもたちが入りやすいように林内遊歩道の腐朽した丸太階段の整備を行い、ヤマボウシ2本を記念植樹した。

事業成果

学校観察林への階段を整備したので、子どもたちが安全に登ることが出来るようになった。緑の少年団活動として自然とのふれあいや森林学習の機会が増える。

事業をよく知る関係者の声

- 子どもたちが学校林に入りやすいよう遊歩道が整備され、以前のように、林の中で自然とふれあいながら命の大切さや環境を守ることの大切さを学べるようになった。また、友だちとともに活動することをとおして絆を深められ、学校教育に大変役立つと思われる。

参加者の声

- 四季折々の樹木を観察して楽しみたい。
- 植樹したヤマボウシを大切に育てて、これからの成長を見守っていききたい。



遊歩道完成状況



看板を設置



ヤマボウシを記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：50㎡
植付本数：2本
遊歩道：30m
イベント：1回

参加者数

学内：37人
学外：6人
計：43人

緑化植物

ヤマボウシ

「緑と水と生き物広場」の緑化事業

熊本県熊本市立武蔵小学校



事業概要

樹木や花の変化で四季の移り変わりや様々な生き物が集まる水辺環境で観察学習ができるように中庭の整備をする。主な活動は以下のとおり。①樹木の手入れ、②ビオトープの整備、③植樹。

事業成果

児童、または地域の方々が安らぎ、憩いとなる場所がさらにパワーアップしたように思う。

事業をよく知る関係者の声

- ・学校の予算では対応できなかったビオトープの整備や植樹等ができた。この憩いの場で皆が仲良く勉強や遊びができるよう環境を持続していきたい。

参加者の声

- ・自然ふれあい広場に季節を感じさせるたくさんの樹木、ビオトープの魚、流れる滝に触れることで、喜びを感じる。武蔵小にしかない最高の憩いの場所ができた。



記念植樹



整備したビオトープ



ビオトープ周辺の木々と流れる滝



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：64本

参加者数

学内・学外：約100人
計：約100人

緑化植物

カエデ、ユキヤナギ、コデマリ、アカシア、モッコウバラ、トキワマンサク、ブルーベリー、サルスベリー、アガパンサス、ヒイラギナンテン、ドウダンツツジ、モミジ、タマリユウ、ツワブキ

校庭の樹木となかよしプロジェクト

熊本県熊本市立出水南小学校



事業概要

子どもたちが樹木に興味・関心を持てるように、森林インストラクターに依頼し、樹名板を設置した。

事業成果

樹木についての理解が深まり、樹木について興味関心が高まった。下級生についても伝えたいという気持ちが高まり、樹木について下級生に向けて発表した。また、子どもたち自身で作成した樹木図鑑を自校のホームページに掲載した。

事業をよく知る関係者の声

- ・めずらしい取り組みであると評価していただいた。子どもたちが樹木に関心を持ち、緑や自然を大切にする取り組みが広がると良いと言われた。

参加者の声

- ・樹木に樹名板が付き、保護者や地域の方も、樹木について関心を持つようになった。地域の方からも大変好評であった。また、子どもたちが作成したデジタル樹木図鑑についても、感心されていた。



樹木図鑑の発表



ハナミズキを記念植樹



ユリノキの樹名板



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1本

校庭の樹木の樹名板設置：
128枚

参加者数

学内：815人

学外：5人

計：820人

緑化植物

ハナミズキ

東っ子学びの森づくり活動

大分県由布市立東庄内小学校



事業概要

学校環境の緑化を通して子どもの環境教育の推進を図ることを目的に、以下の活動を行う。①竹林整備。②「東っ子学びの森」として、校門前と多々良坂通学路にカワヅザクラ等の樹木を、児童・保護者・地域の方と一緒に植栽。③植栽する木々について、緑の教室等とおして学習。④植栽後、完成式典を関係者出席のもと挙行。

事業成果

学校周辺の景観が豊かになるほか、子どもが樹木に対し興味・関心を持ち、自然を愛し尊重する心情や態度が養われる。また、児童や保護者、教職員そして地域の方々の学校への愛着がさらに高まる。

事業をよく知る関係者の声

- ・「東っ子学びの森」はこれで完成ではなく、今後も子どもたちが学べるように手入れをしていくことが地域の役目と感じた。
- ・フジバカマをさらに増やし、いずれはアサギマダラが来てくれる学びの森にしたい。
- ・子どもたちの学びの場としてだけでなく、地域住民の交流・集いの場になることを願う。

参加者の声

- ・植樹活動とおして、植物の特徴等を知ることができて、自然を大切にしようと思った。
- ・地域の方がたくさんの準備をしてくれて、地域の方々に感謝することができた。
- ・小学校の樹木が受け継がれていって欲しい。



正門前で親子による植樹作業



通学路脇にも植樹



記念植樹



「東っ子学びの森」完成式典

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：320㎡
植付本数：132本
イベント：4回

参加者数

学内：62人
学外：42人
計：104人

緑化植物

カワヅザクラ、ヤエザクラ、ヨウコウザクラ、キンモクセイ、イロハモミジ、サルスベリ、アオキ、クチナシ、フジバカマ

岡富小学校「きぼうの森」事業

宮崎県延岡市立岡富小学校



事業概要

心豊かな児童を育成するために、学校内にある樹木の剪定を行い緑環境を整える。また、葉っぱ観察や木の実採集等の体験活動ができる森林を整備する。主な活動は以下のとおり。①植樹、剪定。②「きぼうの森」の整備。

事業成果

校内の樹木の剪定を行ったことで、見通しが良くなり、景観が良くなった。また、木の実の採集等を目的として、クヌギを初めとするブナ科の樹木を植樹し「きぼうの森」を整備した。今後、学習等で活用していきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら計画を進めた。子どもたちには「きぼうの森」でたくさん遊んで、自然とふれあってほしい。学校環境の緑化が進むように、今後も協力していきたい。(学校運営協議会会長の声)

参加者の声

- ・「きぼうの森」で、他学年とも交流したい。ずっと大切にしていきたい。(記念式典に参加した児童)
- ・四季折々に表情を変える校内の樹木とふれあい、心豊かに育ってほしい。(PTA会長)



代表児童・教職員など75人が参加



記念看板の除幕式



記念植樹



剪定後のマテバシイ

実績とりまとめ

作業内容

植付本数： 4本
剪定本数： 10本
記念式典： 1回

参加者数

学内：63人
学外：12人
計：75人

緑化植物

植付：イロハカエデ、ヤマボウシ、クヌギ、カシワ、ウバメガシ
剪定：アラカシ、フジ、マテバシイ、クロガネモチ、ヤマモモ、カイズカイブキ、ヤエザクラ

加納小たんけんの森再生事業

宮崎県宮崎市立加納小学校



事業概要

昭和60年の開校当時に設置された「たんけんの森」を再生し、豊かな心を育む体験活動の場としての整備を行う。主な活動は以下のとおり。①倒木の伐採、撤去。②遊歩道の補修。③看板設置。

事業成果

遊歩道を整備したことで、児童が安心して森に入り学習を行う環境が整った。今後、計画的に活用していきたい。宮崎日日新聞に取り上げてもらったことで、地域の方々や卒業生から、「入ってみたい」という声が寄せられた。

事業をよく知る関係者の声

- ・予算内に収まるよう、作業内容について学校側と何度も相談しながら進めた。これから、森から聞こえる子どもたちの喜ぶ声を期待しながら、可能な限り関わっていきたい。(宮崎中央森林組合 担当者の声)

参加者の声

- ・坂道や下り道があって楽しい。みんなで大切に使いたい。(記念式典に参加した児童)
- ・整備が終わった「たんけんの森」で、たくさん遊び、しっかり勉強してほしい。(記念式典に参加した保護者)



代表児童・教職員など35人が参加



記念植樹



補修した遊歩道



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：1本
 整備面積：0.24ha
 伐採本数：7本
 ロープを張った距離：210m
 使用した杭：110本

参加者数

学内：25人
 学外：10人
 計：35人

緑化植物

ヒガンザクラ

「友情の森」再生プロジェクト事業

鹿児島県鹿児島市立谷山小学校



事業概要

本校は、宮崎市立大淀小学校と昭和30年から66年間にわたり、交流事業を行っている。今回、計画した「友情の森」再生プロジェクトは、本校と大淀小学校の友情の証として設置された「友情の森」を子どもたちが集い、交流する場へと再生させるために計画されたものである。本事業をとおして、友情の森全体の整備・改修を行うことで、設置された当時のように子どもたちが自然とふれあい、体験活動ができる場へと再生する。

事業成果

鬱蒼としていた「友情の森」が整備され、子どもたちの集う憩いの森に生まれ変わった。3年ぶりに実施された宮崎県の大淀小学校との交歓会においても、両校の児童がお互いの交流を深め、友情を確かめ合う交歓の場となっていた。

今後もこの友情の森が、子どもたちの学びと交流の場となるよう、大切に守り育てていきたい。

事業をよく知る関係者の声

- ・木漏れ日のきれいな森になった。
- ・きれいになった森や池を学習活動にも有効活用してほしい。

参加者の声

- ・きれいになった森で読書をして楽しみたい。
- ・大淀小学校との友情の証として、この「友情の森」をこれからも大切に守っていきたい。
- ・観察池の生き物の観察がしやすくなった。
- ・観察池の田んぼで稲を育てるのを楽しみにしている。
- ・春になって桜が咲く頃の森の様子が楽しみだ。



完成式典



看板を設置



記念碑と子どもたち



記念植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：32本
 田植え作業：1回
 稲刈り作業：1回
 観察活動：4回
 イベント：2回

参加者数

学内：409人
 学外：145人
 計：554人

緑化植物

アジサイ

羽月小学校児童会緑化事業

鹿児島県伊佐市立羽月小学校



事業概要

児童が学校の木々や花々へ関心をもち、自然を愛する気持ちを育てることを目的に、シンボルツリーの周りに木製のベンチを設置し、学級園の花を守るための木柵を設置した。また、樹木札の設置やイヌマキの植樹など多様な活動を高学年中心としながら、多くの児童に経験させるようにした。

事業成果

シンボルツリーの周りに木製のベンチを設置したことにより、昼休み等に子どもたちが腰を掛ける姿が見られ、樹木とふれあう機会が増えた。また、学校開放で校庭を使用する地域住民などが使用することも多くあった。児童会を中心にイヌマキの植樹や樹木札、木柵等の設置を行ったことにより、緑化活動に対する意識が高まった。

事業をよく知る関係者の声

- 多くの児童や教員、保護者がこの事業の成果や良さを感じることができるように、多様な整備を実施。結果、多くの方が知る機会となった。反省点としては、活動の種類が多いため、広く浅い活動になってしまった。しかし、周知するという点ではメリットも大きかったので、今回の事業が今後の活動に繋がっていくことを期待したい。

参加者の声

- 木製のベンチがあると、シンボルツリーの木陰で休むことができ、涼しくて気持ちが良い。(児童)
- 記念式典に参加して、たくさんの事業をしていただいたことを知ることができた。自分がしたことは多くはなかったが、学校の自然を守ることに繋がりがうれしくなった。
- 正門の入口付近の樹木の剪定がされて、すごく学校が明るくなったと思う。(保護者)



完成式典



イヌマキを植樹



大木カヤノキと子どもたち



看板を設置

実績とりまとめ

作業内容

植付面積：15㎡
 植付本数：10本
 除伐面積：0.04ha
 イベント：3回

参加者数

学内：89人
 学外：18人
 計：107人

緑化植物

イヌマキ

学校環境の緑化を通じて環境教育を推進する

沖縄県豊見城市立とよみ小学校



事業概要

県内有数の緑あふれるとよみ小学校の緑化をさらに推進していくために、土置き場を整備し、樹木の手入れをしながら児童の豊かな心を育成していく。活動内容は、植樹（サルスベリ1本、フクギ1本、サガリバナ1本）、土置き場設置、プランター用ひな壇の設置。

事業成果

栽培委員会の児童が土置き場で腐葉土を作り、様々な植物を栽培することができている。また、植物の世話をしていくことで、情操豊かな児童へと成長できる事業となった。さらに、3本の植樹を加え、より緑豊かなとよみ小学校となった。

事業をよく知る関係者の声

樹木や草花の多いとよみ小学校ではあるが、土置き場がなく困っていた。また、季節の花々を栽培するプランター用ひな壇の老朽化も進んでいた。そのため、土置き場とプランター用ひな壇を設置していただいたことで、樹木や草花の栽培がしやすくなってとても良い。

参加者の声

- ・土置き場が設置され、プランターや鉢に入れる土が入れやすくなった。
- ・古くなったプランター用ひな壇を新しく設置したことで、プランターの管理がしやすくなった。
- ・樹木が増えたのでとてもうれしい。

(参加者…栽培委員会)



完成式典



土置き場とプランター用ひな壇



代表児童・教職員など19人が参加



サルスベリ、フクギ、サガリバナを植樹

実績とりまとめ

作業内容

植付本数：3本
 イベント：1回
 土置き場設置
 プランター用ひな壇設置

参加者数

学内：15人
 学外：4人
 計：19人

緑化植物

サルスベリ、フクギ、
 サガリバナ